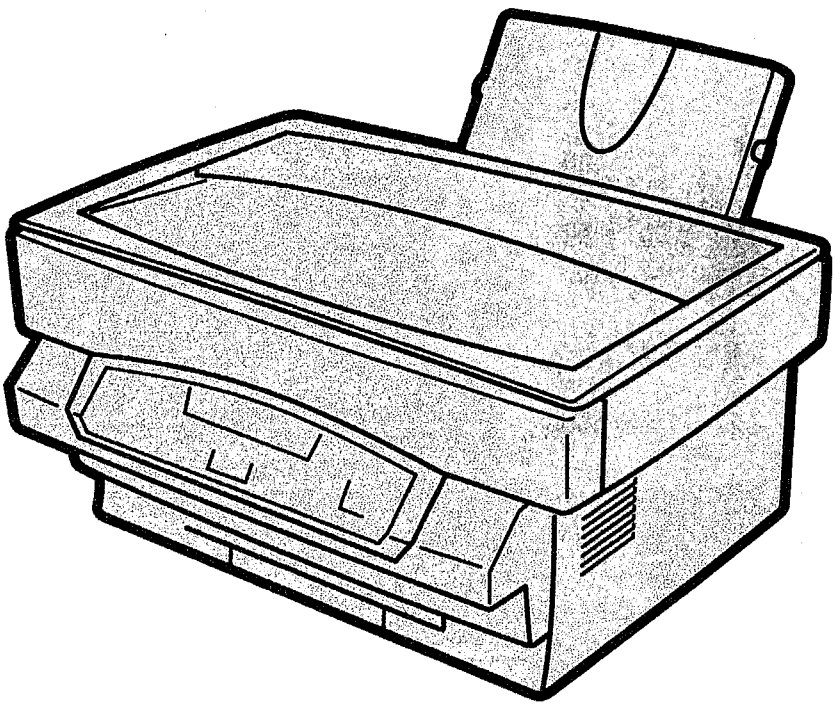
WorkCentre™ 60P

取扱説明書



THE DOCUMENT COMPANY

FUJI XEROX

「Microsoft」「MS-DOS」「Windows」「Windows NT」は、米国Microsoft Corporation (マイクロソフト社) の米国およびその他の国における登録商標です。
画面の使用に際して米国マイクロソフト社の許諾を得ています。
「IBM PC AT」は、米国IBM社の商標です。
「NEC」「PC-9821」は、日本電気株式会社の商標および登録商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④ 本書に記載されていない方法で本機を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制 (電波規制や材料規制など) は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

「XEROX」「The Document Company」は登録商標です。

はじめに

このたびは WorkCentre™ 60P をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、WorkCentre™ 60P の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。WorkCentre™ 60P の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、この機械をご使用になる前には必ず本書をお読みください。

また、この取扱説明書は読み終わったあとも大切に保管し、WorkCentre™ 60P をご使用の際にご不明な点がありましたときにもご利用ください。

1999 年 3 月
富士ゼロックス株式会社

この取扱説明書のなかで ⚠ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機器は社団法人日本事務機器工業会が定めた複写機および類似の機器の高調波対策ガイドライン (家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠) に適合しています。

弊社は、省エネルギーを目的とした国際エネルギースタープログラムの参加事業者です。本製品は国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

こんなことができます

節約したい

コストを節約したいときには、次のような方法があります。

◆ 電気代を節約する

電気代を節約する機能には、次の二つがあります。

- 予熱モード ☞ 31ページ
  WorkCentre 60Pの未使用状態が設定時間まで続くと、自動的に予熱モードになり、消費電力が29Wまで下がります。設定範囲は、45秒、90秒、2分、5分です。
- オートパワーシャットオフモード ☞ 31ページ
  WorkCentre 60Pの未使用状態が設定時間まで続くと、自動的にオートパワーシャットオフモードになり、消費電力が17Wまで下がります。設定範囲は、2、5、15、30、60、120（分）です。

◆ トナーを節約する ☞ 9、10ページ

トナー節約モードを使うと、トナーの消費量が約10%下がります。

◆ 両面にコピーして用紙を節約する ☞ 28ページ

手差しトレイを使うと、用紙の両面に印刷できます。

いろいろな用紙を使いたい

通常の用紙以外にも、次のようなものにコピーしたり、印刷したりできます。

◆ はがき ☞ 18, 57ページ

あて名などをはがきにコピーしたり、印刷したりできます。

◆ OHPフィルム ☞ 22ページ

表やグラフなどを、OHPフィルムにコピーしたり、印刷したりできます。会議の資料づくりなどに便利です。

いろいろな原稿をコピーしたい

原稿カバーが取り外せるので、大きな原稿をコピーできます。☞ 26ページ

速く作業したい

次のような機能で、スピーディーな作業ができます。

- ウォーミングアップタイム0秒
  電源スイッチを入れたらすぐにコピー予約ができます。
- A4用紙なら、毎分6枚のコピー/毎分8枚の印刷が可能
- 最大50枚の連続コピー

きれいにコピーしたい

きれいにコピーしたいときには、次のような方法があります。

- 画質を調整する ☞ 26ページ
  写真モード、文字モードなど、原稿のタイプに合わせて画質を設定すると、より鮮明にコピーできます。
- 濃度を調整する ☞ 26ページ
  濃度を5段階に調整できる手動モードを搭載しています。
- 倍率を調整する ☞ 27ページ
  50～200%まで、1%ごとに151段階の倍率が選択できます。

パソコンのプリンターとして使いたい

WorkCentre 60Pを、付属のパラレルケーブルでパソコンと接続すると、プリンターとして使うことができます。

- Windows® 95、Windows® 98、Windows NT® 4.0に対応
- パソコン側で印刷データを一括処理するため、印刷中の待ち時間が少なく高品質の印刷ができます。
- プリンタードライバーで、印刷画質や解像度を設定すると、より鮮明に印刷できます。

本書の使い方

前提知識

本書は、お使いのOS（オペレーティング）の環境について基本的な知識や操作方法を理解いただいていることを前提に説明しています。お使いのOSの基本的な知識や操作方法に付いては、OS付属の説明書やオンラインヘルプなどをお読みください。

前提条件

本書は、WorkCentre 60Pを初めて使用する方が対象です。最初から順に読み進めてください。
また、本書を読み始める前に、次の項目を確認してください。
- WorkCentre 60Pを設置する環境

本書の構成

本書の各章の内容は次のとおりです。

第1章　お使いになる前に

WorkCentre 60Pの各部の名称、設置場所、取り扱い上の注意など、WorkCentre　60Pを設置する前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

第2章　設置のしかた

同梱品を確認してから電源を入れるまでの設置手順、およびプリンタードライバーのインストールについて説明しています。

第3章　用紙について

使用できる用紙の種類とサイズ、使用できない用紙について説明しています。

第4章　コピーする

基本的なコピーのとり方をはじめ縮小/拡大コピー、両面コピー、手差しコピーなどいろいろなコピーのとり方とコピーを中止する方法について説明しています。

第5章　便利な機能

予熱モード、オートパワーシャットオフモードなどの省エネルギーモードや自動解除モードなどの設定を変更する手順について説明しています。

第6章　プリンターとして使用する

プリンタードライバをインストールする方法、印刷方法の設定、印刷指示の取り消しなどプリンターとして使用する場合の操作方法について説明しています。

第7章　消耗品の交換と日常のお手入れ

消耗品（トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ）の交換方法、WorkCentre 60Pを清掃の手順について説明しています。

第8章　こんなときには

紙づまりなど、使用中にトラブルが発生したときの対処方法や総コピー枚数の確認法方について説明しています。

第9章　付録

用紙、消耗品、WorkCentre 60Pの仕様などについて説明しています。

＊ 本書の他に、「クイックリファレンス」を同梱しています。WorkCentre 60Pの設置方法や紙づまりの処置をまとめて記載していますので、本書と併せてご活用ください。

本書の表記

- 本書では次のような表記を使用して説明しています。

操作するときに注意することや、制約事項をまとめています。

関連する内容の情報、詳細、操作の補足などについて説明しています。

参照先を示しています。

操作パネルのディスプレイに表示される文字を示しています。

- 操作パネルのキーおよびランプを[ ]で表します。
  例：[原稿の画質]キーを押し、[トナー節約]ランプを点灯させます。
- ファイル名やウィンドウ、ダイアログボックスを「」で表わします。
  例：「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。
- ウィンドウ内のメニュー、ダイアログボックス内の項目および各種ボタンを**太字**で表わします。
  例：**スタート**ボタンをクリックし、**ファイル名を指定して実行**を選択します。
- パーソナルコンピュータをパソコンと略して記載しています。
- Mifrosoft® Windows® 95 Operating System日本語版をWindows® 95と略して記載しています。
- Mifrosoft® Windows® 98 Operating System日本語版をWindows® 98と略して記載しています。
- Mifrosoft® Windows NT® Operating System Version 4.0日本語版をWindows NT® 4.0と略して記載しています。

もくじ

はじめに　i
こんなことができます　ii
本書の使いかた　iv
目次　vi

1 お使いになる前に

安全にお使いいただくために　1
コピー禁止事項　7
各部のなまえ　8
操作パネル　10
設置場所について　11
取り扱いについて　12

2 設置のしかた

箱の中身を確かめる　13
箱を開けて本機を設置する　14
輸送用保護材を取りはずす　14
トナーカートリッジを取り付ける　15
給紙トレイと用紙をセットする　17
電源コードを接続する　19
インターフェースケーブルを接続する　19
本機の電源を入れる　20
—標準状態の操作パネル　21

3 用紙について

使用できる用紙とサイズを確認する　22
—使用できる用紙の種類とサイズ　22
—使用できない用紙について　23

4 コピーをする

基本的なコピーのとり方　24
ー大きな原稿をセットする　26
コピーの濃さを変える／写真をコピーする　26
コピーを拡大・縮小する　27
両面にコピーをする　28

5 便利な機能

この章でできること　30
予熱モード・オートパワーシャットオフモード・自動解除モードを設定する　31

6 プリンターとして使用する

プリンタードライバーをインストールする　32
ープリンタードライバーとは？　32
ーコンピューターの動作環境を確認する　32
ープリンタードライバーをインストールする　32
印刷をはじめる　53
ー印刷するときは　53
プリンタードライバーで印刷方法を設定する　54
印刷指示を取り消す　56
はがきに印刷する　57
複数のプリンターと一緒に使用するには　60
プリンタードライバーを削除する　61
印刷中にコピーする　62

7 消耗品の交換と日常のお手入れ

トナーカートリッジを交換する　63
ドラムカートリッジを交換する　65
日常のお手入れ　68
ー本機の外側（キャビネット）を清掃する　68
ーコピーガラス・原稿カバーを清掃する　68

8 こんなときは

紙づまりの処置のしかた 70
—E1 給紙トレイにつまっている場合 70
—E2 本機内部につまっている場合 71
—E3 排紙口につまっている場合 72
故障かなと思ったら 73
— コピーに関するトラブル 74
—印刷に関するトラブル 74
—コピー品質をよりよく保つためには 76
—コピーまたは印刷の品質に関するトラブル 77
こんな表示がでたら 80
—操作パネルに表示されたとき 80
ステータスモニターについて 81
総コピー枚数を確認する 82

9 付録

別売品・消耗品の種類と保管方法 83
本機の仕様 84
パラレルインターフェースの仕様 86
本機の印刷範囲 87
本機を輸送する 88
アフターサービスについて 89
索引 90

1 お使いになる前に

本機をお使いいただく前の基本的な知識を説明しています。お使いになる前に必ずお読みください。

安全にお使いいただくために

安全にご利用いただくために、本機をお使いになる前に必ず「安全にご利用いただくために」のページを最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表わしています

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物理的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止とされている事項は絶対に行わないでください。

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

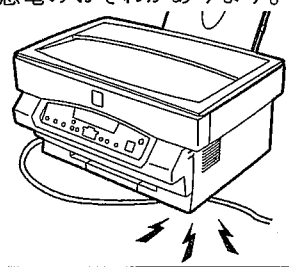
⚠警告

電源プラグは、定格電源100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線はしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。
なお、本機の定格電源は、100V、15Aとなっています。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微少電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

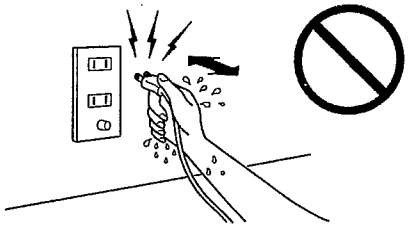
延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱたり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。



⚠警告

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源コードとともに出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース線
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事 (第3種) を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

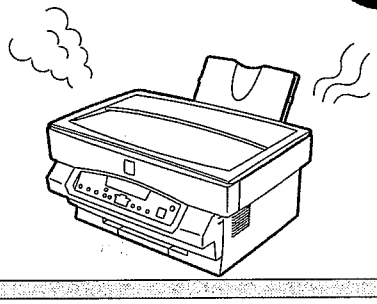
- ガス管 (引火や爆発の危険があります。)
- 電話専用アース線および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- 水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

万一、異物（金属片、水、液体）が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

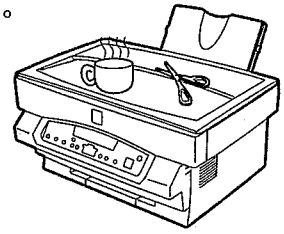
その後、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

機械の上に花瓶や、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。



機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

⚠警告

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

トナーまたはトナーの入った容器を絶対に火中に投じないでください。
粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。
火災のおそれがあります。

ドラムカートリッジを絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

⚠注意

機械の電源スイッチを入れたままコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。
なお、異常がある場合は弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

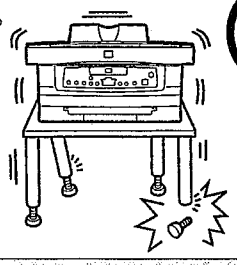
電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

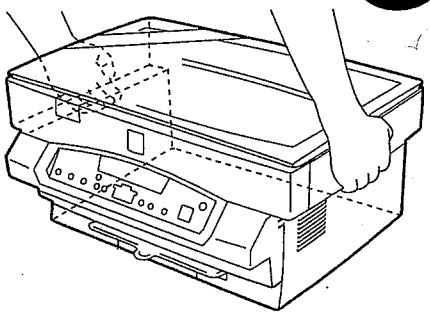
機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

機械は重さ11kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。



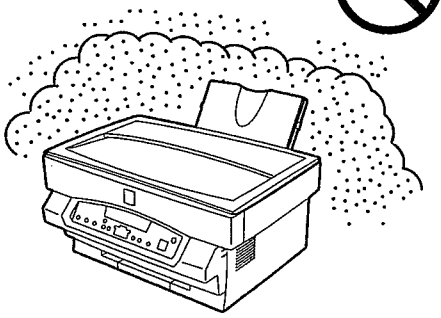
⚠注意

機械を持ち上げるときは、機械正面に向かって、左右両側にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。
落下によるケガの原因となるおそれがあります。



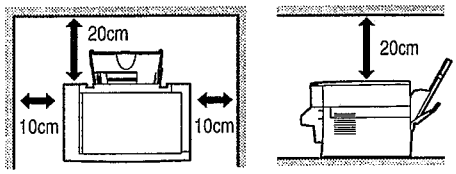
機械を持ち上げるときは、十分にひざを折り、腰を傷めないように注意してください。

高温、多湿及び換気が悪くホコリの多い場所には機械を移動しないでください。発熱による火災や感電の原因となることがあります。

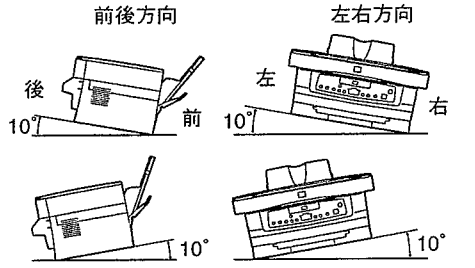


機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

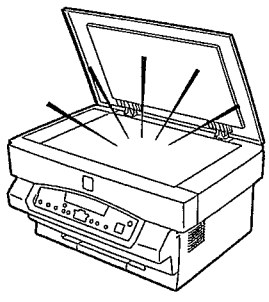
機械の後部には通気口があります。機械は壁から20cm以上離して設置してください。
通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。
また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。



機械を移動する場合は、機械を10度以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



原稿カバーを開けたままコピーをとるとき、ランプ光を見つめないでください。
目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。



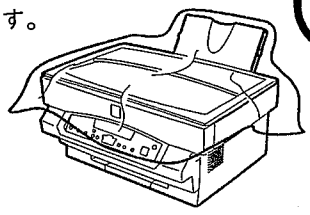
⚠注意

機械の上に重いものを載せないでください。機械のバランスが崩れて倒れたり、重いものが落下してケガの原因となるおそれがあります。

機械の近くまたは内部で強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。

厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。
コピーガラスが割れてケガをする原因となるおそれがあります。

電源を入れたままダストカバーや布、ビニールシートなどのおおいをかぶせないでください。放熱が悪くなり、火災の原因となるおそれがあります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当るような場所にはおかないでください。火災、感電、故障の原因となるおそれがあります。

夏季の自動車内、ストーブやヒーターなどに近い場所に放置しないでください。

つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないよう、すべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。
なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店に連絡してください。

狭い部屋で長時間使用する場合は、部屋の換気に注意してください。
頭痛などの原因となるおそれがあります。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（ヒーター部やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。
なお、ヒーター部やローラーに部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

「高圧注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。感電の原因となることがあります。

ドラムクリーナーは高温および火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。引火により火災のおそれがあります。

その他

いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
温度 10～30℃　湿度 20～85%（結露がないこと）
温度が35℃以下のときは湿度60%以下、湿度が85%の時は温度28℃以下でご使用ください。
冷え切った部屋を暖房器具等で急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し、部分的にコピーできない場合があります。

消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
- 高温、低温、多湿の場所
- 火気のある場所
- 直射日光の当たる場所
- ホコリが多い場所

インターフェースケーブルを接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。
感電の原因となるおそれがあります。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源プラグをいったん抜いてください。
電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は、電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

コピー禁止事項

自分で利用するものであっても、何をコピーしてもよいとは限りません。法律によって、単にコピーを所有するだけでも罰せられるものもありますので注意してください。

法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピーすることは禁止されています。
  （見本であってもコピーすることは禁止されています。）
- 政府の模造許可をとらない限り、未使用の郵便切手や、官製ハガキなどをコピーすることは禁止されています。
- 外国において流通している紙幣、貨幣、証券類をコピーすることは禁止されています。
- 政府発行の印紙、法令で規制されている証券類をコピーすることは禁止されています。

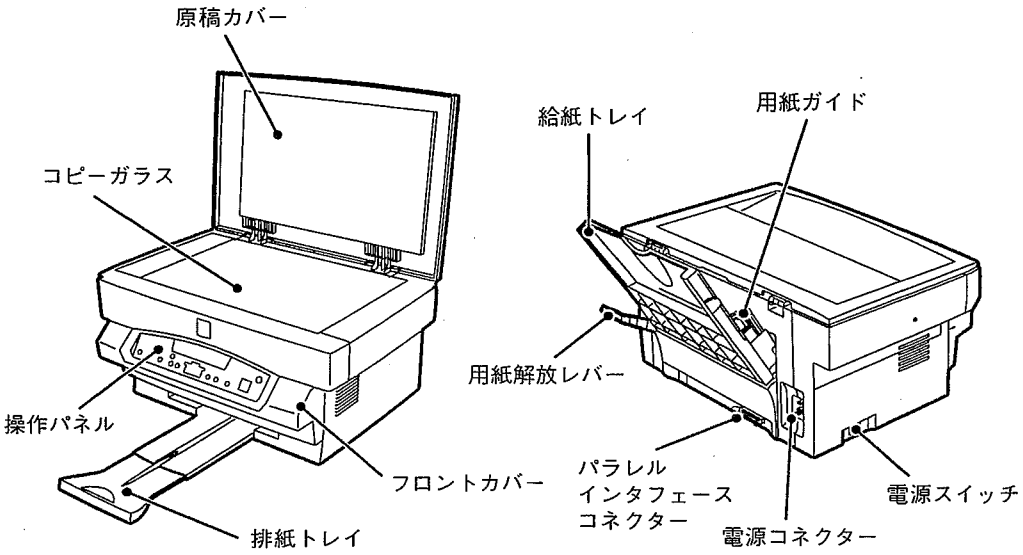
注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に使用するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も不必要なコピーをしないほうがよいと考えられます。

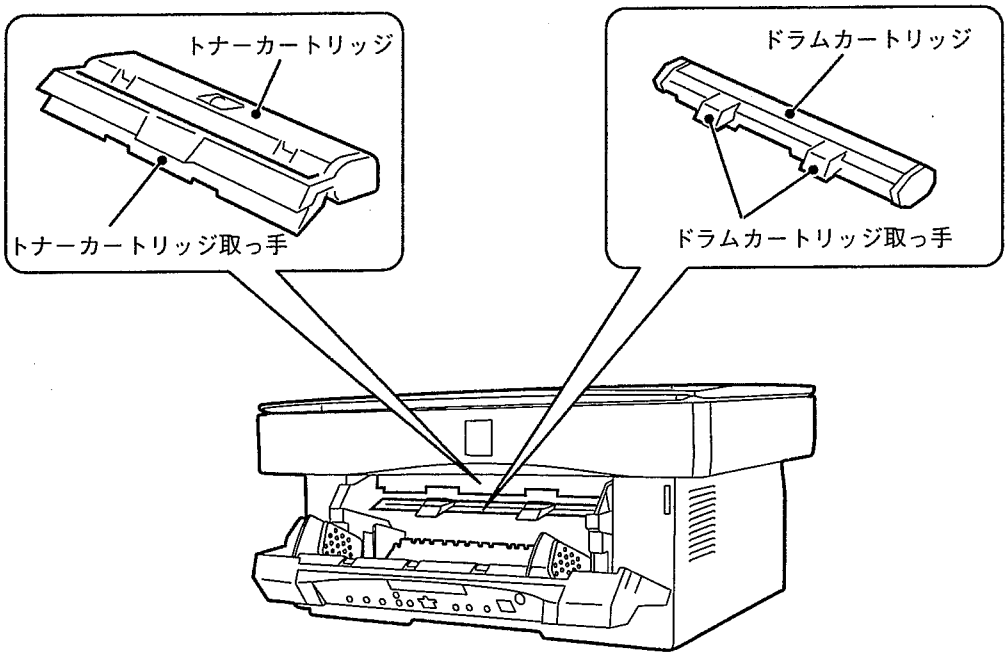
著作権の対象となっているもの

- 著作権の対象となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、作者に無断でコピーすることは法律で禁止されています。

各部のなまえ

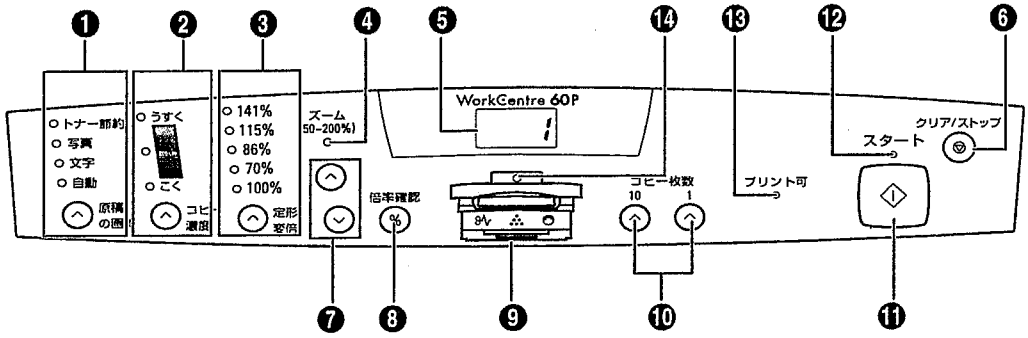


原稿カバー	原稿を押さえます。	(☞ 25,26ページ)
コピーガラス	原稿をセットします。	(☞ 24ページ)
操作パネル	本機の操作に使用します。	(☞ 10ページ)
排紙トレイ	延長して出力紙を保持します。	(☞ 24ページ)
フロントカバー	消耗品の交換時に開きます。	(☞ 63,65,71ページ)
給紙トレイ	用紙をセットします。	(☞ 17,18ページ)
用紙解放レバー	用紙のセットや解放時に使用します。	(☞ 17,18ページ)
パラレルインターフェースコネクター	コンピューターに接続します。	(☞ 19,20ページ)
電源コネクター	電源コードを接続します。	(☞ 19ページ)
電源スイッチ	本機を起動させます。	(☞ 19ページ)
用紙ガイド	用紙のサイズに合わせます。	(☞ 18ページ)



トナーカートリッジ..... トナー（画像形成材）が入っています。 (☞ 63ページ)
ドラムカートリッジ..... 感光体ドラムがセットされています。 (☞ 65ページ)

操作パネル



❶画質切換キー／表示ランプ

コピー濃度を自動、文字、写真、トナー節約モードに設定できます。設定されているモードのランプが点灯します。トナー節約モードでは、トナーの消費量を約10%下げます。 (☞ 26ページ)

予熱モード、オートパワーシャットオフモード、自動解除モード、用紙幅検知モードの設定を開始、終了するときに使用します。 (☞ 31ページ)

❷濃度調整キー／表示ランプ

コピー濃度を5段階に調整できます。
設定されている濃さのランプが点灯します。
(☞ 26、27ページ)

❸定形変倍キー／表示ランプ

固定倍率を選択します。
設定されている固定倍率ランプが点灯します。
(☞ 27ページ)

❹ズームランプ

ズームキーで拡大・縮小倍率を設定すると点灯します。 (☞ 27ページ)

❺ディスプレイ

設定したコピー枚数、ズームキーで設定した倍率、予熱モード、オートパワーシャットオフモード、自動解除モードの設定コード、エラーコードが表示されます。

❻クリア／ストップキー

- 設定したコピー枚数の消去や、連続コピーを中断します。 (☞ 25ページ)
- 予熱モード、オートパワーシャットオフモード、自動解除モードの設定中、入力を訂正します。 (☞ 31ページ)
- 本機の総コピー枚数を確認します。 (☞ 82ページ)

❼ズームキー

50%から200%の範囲で1%きざみに拡大・縮小倍率を設定できます。 (☞ 27ページ)

❽倍率確認キー

ズームキーで設定した倍率が、キーを押している間、コピー枚数表示部に表示されます。
(☞ 27ページ)

❾警告表示ランプ

「∴」トナーカートリッジ交換ランプ (☞ 63、80ページ)
「◓」ドラムカートリッジ交換ランプ (☞ 65、80ページ)
「8∿」紙づまりランプ (☞ 70、80ページ)

❿枚数セットキー

- コピー枚数を1～50枚まで設定できます。 (☞ 25ページ)
- 予熱モード、オートパワーシャットオフモード、自動解除モード、用紙幅検知モードの設定を変更します。 (☞ 31ページ)

⓫スタートキー

- コピーを開始するときに押します。
- 予熱モード、オートパワーシャットオフモード、自動解除モードを設定するときに使います。 (☞ 31ページ)

⓬スタートランプ

- ランプが点灯：コピー可能状態です。
- ランプが点滅：節電モードです。

⓭用紙ランプ

用紙がセットされると、点滅から点灯へ変わります。

⓮プリント可ランプ

- プリンターとして使用したときに点灯します。
  - 点灯：プリンターが印刷可能な状態です。（オンライン）
  - 点滅：プリント中です。
  - 消灯：コピー中または警告のときに消灯します。

2 設置のしかた

本機を正しく使用するために、次の手順にしたがって設置をしてください。

設置場所について

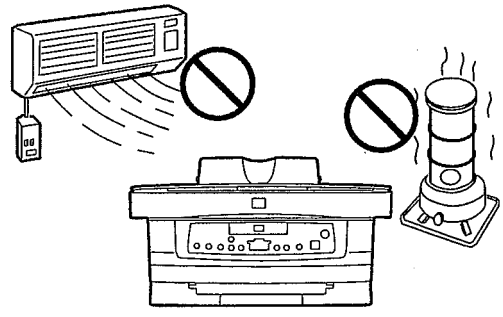
本機の性能は、設置場所の環境条件により影響を受けます。
次のような場所には設置しないでください。

ご注意 寒いところから急に暖かい所へ移動させた場合には内部のレンズや感光体ドラムに露が発生することがあります。このような状態でコピーすると画像がぼやけたり写らなかったりすることがありますので2時間以上、室温になじませてからご使用ください。

高温、高湿、低温、低湿の場所（ストーブ、加湿器、クーラーなどの近く）

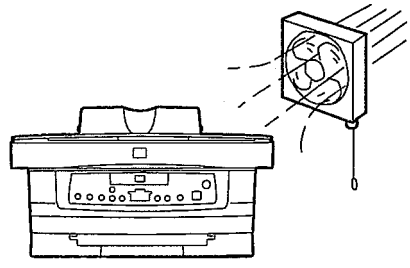
用紙が湿ったり、本機内部に露が発生し、紙づまりやコピー汚れの原因となります。
（使用環境：☞ 6ﾍﾟｰｼﾞ）

なお、超音波式の加湿器には加湿器用純水をご使用ください。水道水等を給水するとミネラル成分も噴出されるため、本機内部に汚れが付着し、コピー汚れの原因となります。



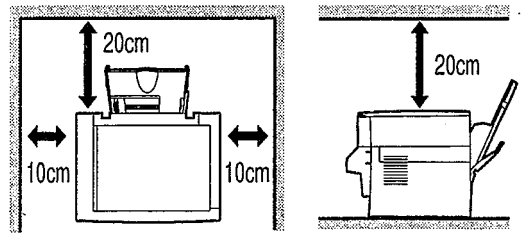
通気性の悪い場所

コピー中、本機内部でオゾンが発生します。その量は人体に悪影響をおよぼさないレベルですが、大量にコピーをとる場合には臭気が気になることがありますので、窓や換気扇のある部屋に設置し、ときどき換気してください。



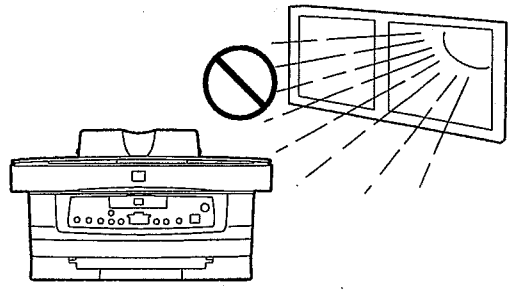
壁に近い場所

壁からの距離をあけて設置してください。通風や紙づまりの処置をする場合に必要です。



直射日光の当たる場所

プラスチック部品が変形したり、コピー汚れの原因となります。



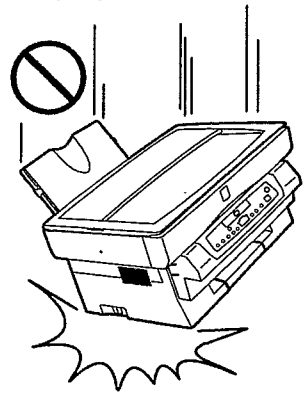
振動の多い場所

故障の原因となります。

取り扱いについて

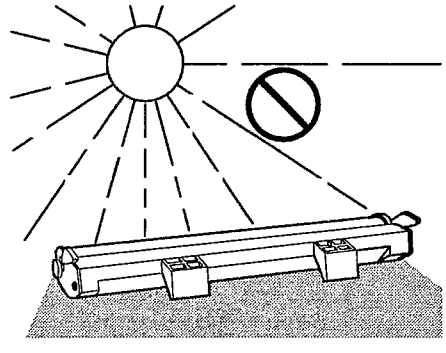
本機の性能を維持するために取り扱いには次のことを注意してください。

落としたり、衝撃を与えたり、物をあてたりしないでください。



ドラムカートリッジを直接光に当てないでください。

ドラムカートリッジの表面（緑色の部分）がダメージを受け、コピー汚れの原因となります。



予備に購入されたトナーカートリッジやドラムカートリッジは、交換時期がくるまで箱から取り出さないで暗い場所に保管してください。

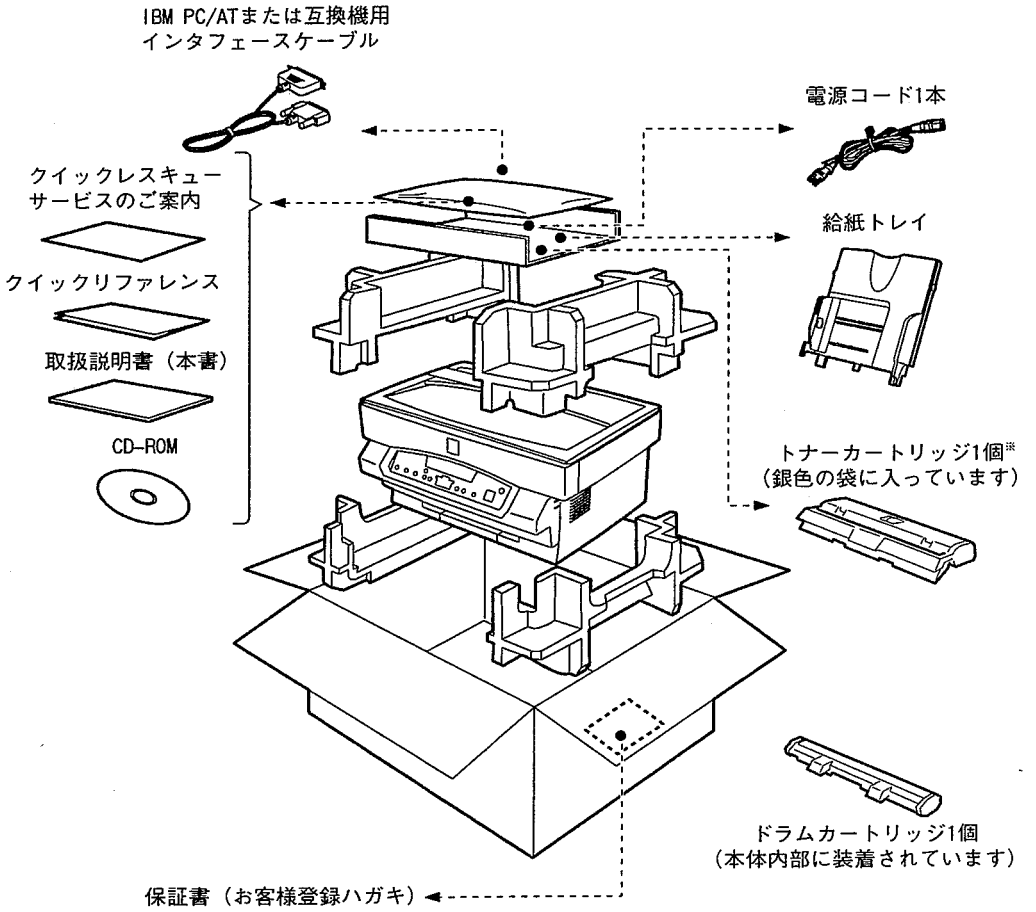
直接日光を当てると、コピー汚れの原因となります。

ドラムカートリッジの表面（緑色の部分）は直接手で触れないでください。

カートリッジの表面（緑色の部分）に傷がつき、コピー汚れの原因となります。

箱の中身を確かめる

箱を開けて、以下のものがそろっていることをお確かめください。



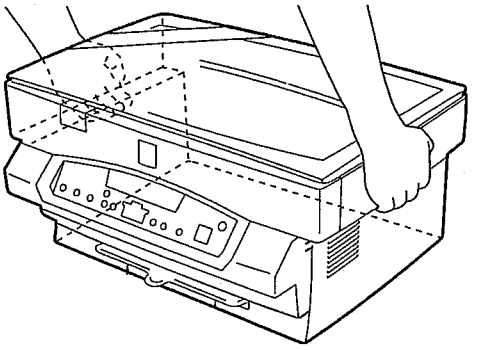
メモ

- 箱の中身がたりない場合や、破損している場合は、お手数ですがお買い上げ販売店またはカストマーサポートセンターまでご連絡ください。（☞ 89 ページ）
- 箱や梱包材は、本機を輸送するときに必要となりますので、保管しておいてください。

※ 1,500枚：A4サイズで像密度5%をコピーしたときの枚数を基準としています。別売りのトナーカートリッジは約3,000枚ですので、あらかじめご了承ください。

箱を開けて本機を設置する

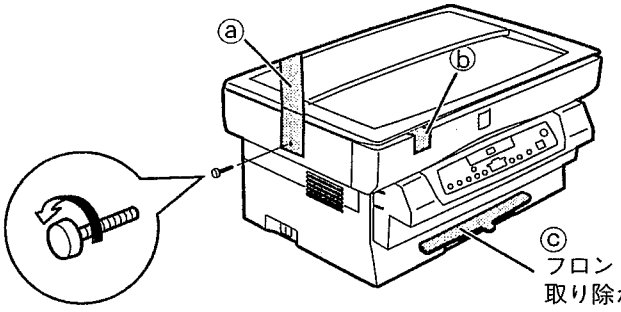
箱の梱包をとき、本機の両側面を図のように持って、設置場所へ運んでください。



輸送用保護材を取りはずす

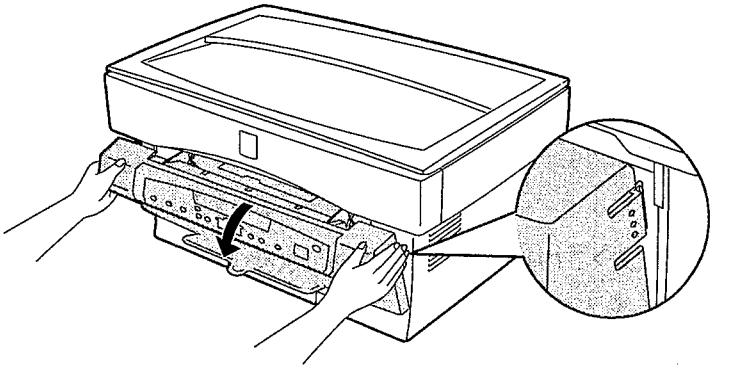
1 固定ねじを矢印の方向にまわして取りはずし、保護材ⓐを取り除きます。

ご注意 固定ねじは本機を輸送するときに必要となりますので、フロントカバーの中に保管してください。(☞ 15ページの手順4)

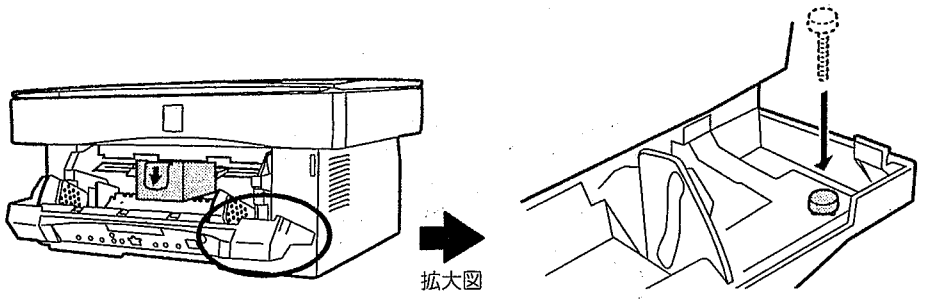


2 テープⓑをはがします。

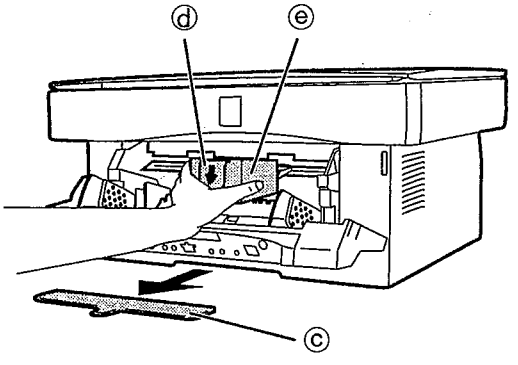
3 両端を軽く押さえながら、フロントカバーを開きます。



4 本機を取り出したときにはずす固定ねじ（☞ 14ページ手順1）をフロントカバーの右側に保管します。



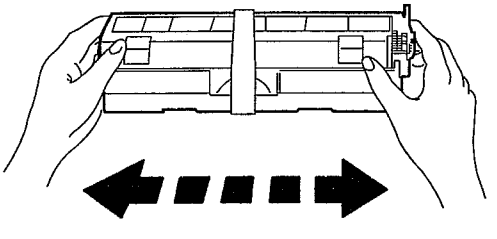
5 保護材ⓒを取り除いた後、黒色の保護シートⓓを、保護材ⓔといっしょに静かに手前に引き、取りはずします。保護シートが途中でやぶれて本機内部に残らないように注意してください。



トナーカートリッジを取り付ける

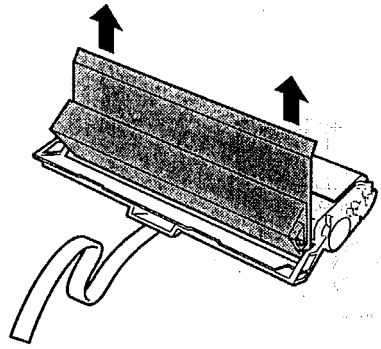
ご注意 必ず、ドラムカートリッジ保護シートを取りはずしてから、トナーカートリッジを取り付けてください。保護シートが取り付けられている状態でトナーカートリッジを取り付けないでください。

1 袋からトナーカートリッジを取り出し、両端を持って、左右に4～5回振ります。

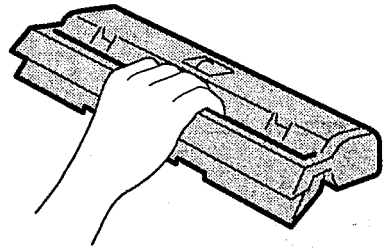


メモ 本機を購入したときに付属しているトナーカートリッジの交換時期は1,500枚です。

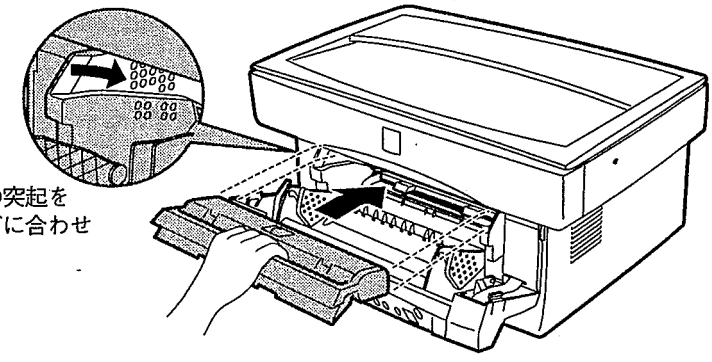
2 輸送用の保護テープを取りはずしてから、保護材を取りはずします。



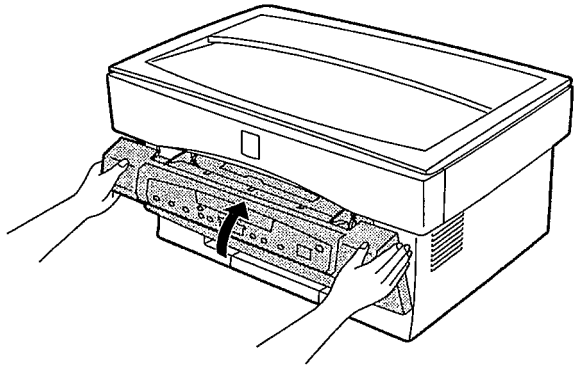
3 下の図のように、取っ手を握ります。



4 トナーカートリッジを、ガイドに沿って矢印の方向にゆっくりと挿入します。

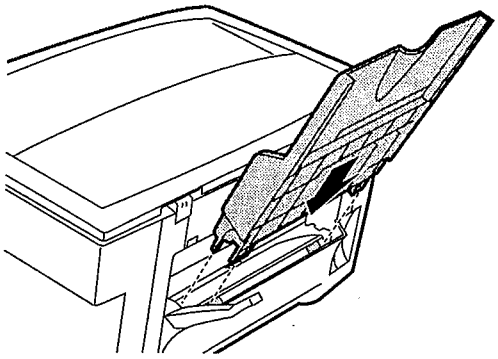


5 フロントカバーを閉じます。



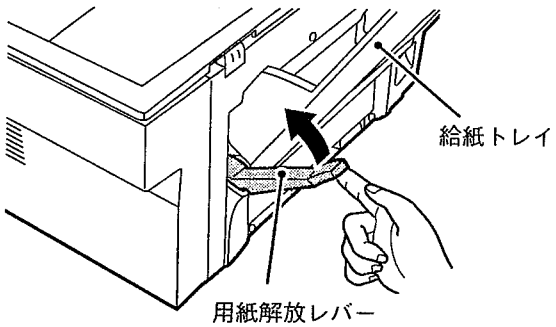
給紙トレイと用紙をセットする

1 給紙トレイの用紙ガイドが本機の前面を向くようにして、給紙トレイ挿入口に沿って差し込みます。



2 給紙トレイの右側にある用紙解放レバーを手前に引きます。

ご注意 用紙解放レバーを手前に引かずに用紙を挿入すると、紙づまりの原因となります。



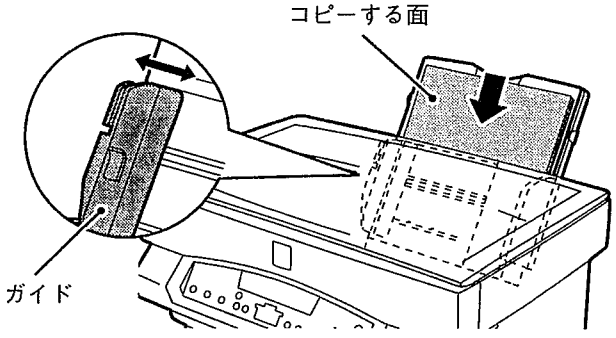
3 コピーする面が手前になるようにして、用紙の右端を給紙トレイの右側に合わせます。次に左端のガイドをつまんで用紙の左端に合わせます。

ご注意

- 給紙トレイには、普通紙（56～80g/m²）を約250枚セットすることができます。用紙を入れすぎないように注意してください。紙づまりの原因となります。
- 給紙トレイに用紙をセットするときは、必ず縦長方向にセットしてください。
- はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートをコピーする場合は、1枚ずつ給紙してください。
- 用紙の左端とガイドの間にすき間が空きすぎたり、ガイドを強く押しすぎて用紙が曲がることのないようにしてください。ゆがんでコピーされたり紙づまりの原因となります。
- はがきを両面コピーする場合：
  - 宛名のコピーは後にしてください。
  - 給紙トレイにセットしたときの下の部分が先端から10mmの範囲はコピーできません。
  - 片面をコピーした後、紙が反ったときは、平らに伸ばしてから反対側の面をコピーしてください。
- はがきを給紙トレイにセットするときは、必ず縦長方向（148mm）にセットしてください。

メモ

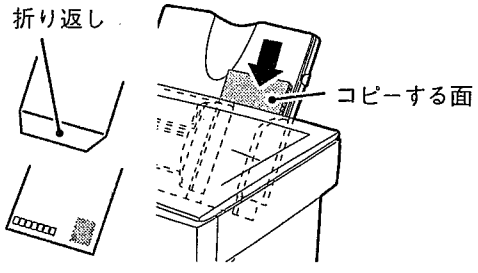
- コンピューターから印刷する場合、アプリケーションで指定した用紙サイズが、本機にセットされている用紙サイズより大きい場合（例えば、アプリケーションではA4に設定しているが、本機の給紙トレイにはA5の用紙をセットしている場合）は、1枚の用紙には収まらないため、印刷が2枚にわたってしまったり、印字されない部分が発生する場合があります。
- アプリケーションの設定よりも小さいサイズの用紙に印刷すると、用紙からはみ出た部分のイメージがドラムカートリッジの表面に残り、そのあと大きな用紙に印刷すると残った部分のイメージが印刷されたり、裏面が汚れることがあります。ドラムカートリッジの表面に残ったイメージは2～3ページ印刷すると消えます。



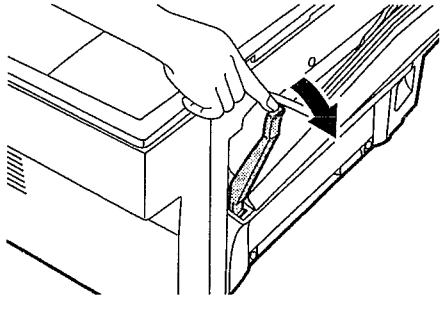
メモ

封筒にコピーする場合は、コピーする面を手前にして、封筒の折り返しが下になるようにセットします。左端のガイドと封筒の左端との間には約1mmのすき間ができるようにしてください。

はがきの宛名コピーの場合は、コピーする面を手前にして切手の部分が下になるようにセットします。



4 用紙解放レバーを押し戻します。押し戻すと本機の内部で用紙がセットされます。

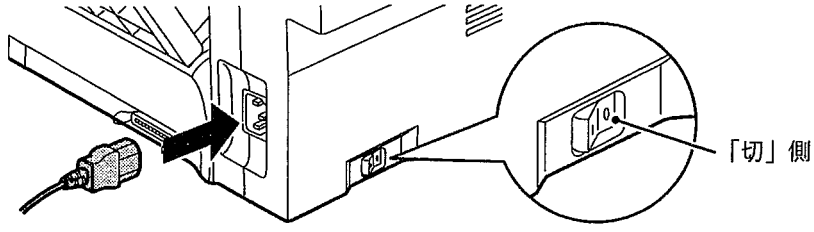


ご注意

給紙トレイに特殊紙や数枚の用紙をセットする場合、または両面コピーをする場合は、用紙開放レバーを押し戻しても、用紙が本機の内部でセットされないことがあります。そのようなときは、用紙解放レバーを数回動かしてみて、用紙が確実にセットされていることを確認してください。

電源コードを接続する

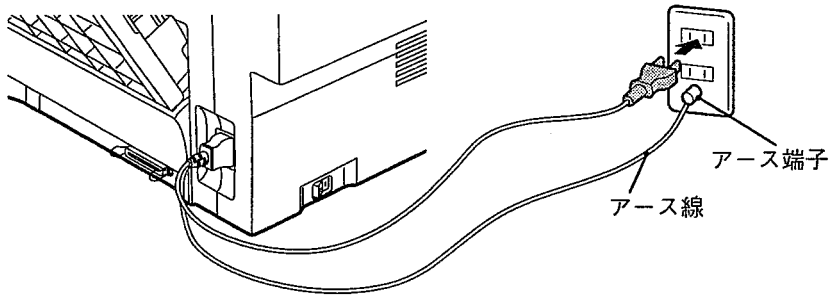
1 本機の電源スイッチが「切」（○）側になっていることを確認します。付属の電源コードを本機背面の電源コネクターにさし込みます。



2 アース線をアース端子に接続してから、電源コードのもう一方のプラグをコンセントにさし込みます。

警告

- アース線（電源コードとともに出ている緑色のコード）をアース端子（アース工事されているもの）に必ず最初に接続してください。
  アース線が接続されておらず、万一漏電した場合は、感電の原因となります。なお、アース工事は、お買いあげの販売店または電気工事店にご依頼ください。（アース工事は有料です。）
- 電源は、15A以上、100Vの専用コンセント（アース端子付）以外では使用しないでください。それ以外の電源で使用すると、火災の原因となります。



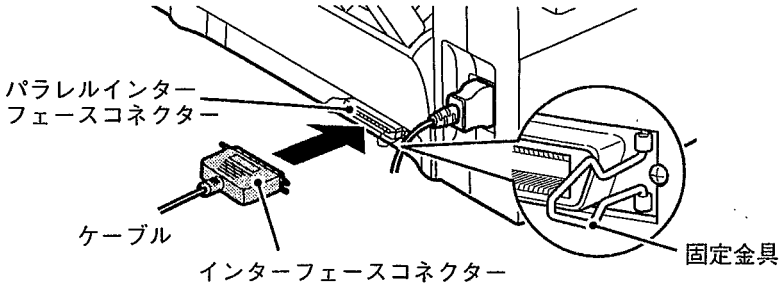
インターフェースケーブルを接続する

本機をお使いのコンピューターのプリンターとして使用する場合は、パラレルインターフェースケーブルを接続してください。

メモ

- 本機には、NEC PC-9821シリーズ用パラレルインターフェースケーブルは付属していません。本機とお使いのコンピューターの機種に合ったものを前もってご用意ください。
- お使いのパソコンがNEC PC-9821シリーズの場合、ケーブルはシールドタイプで長さが3m以内の双方向パラレルインターフェースケーブル（IEEE1284適合品）をお使いください。お使いのコンピューターに対応したインターフェースケーブルがおわかりにならない場合は、コンピューターを購入された販売店にお問い合わせください。
- パラレルインターフェースの規格については、「パラレルインターフェースの仕様」（☞ 86ページ）で説明しています。

1 使用したいコネクターに、ケーブルのインターフェースコネクターを差し込み、固定金具でしっかり固定します。パラレルインターフェースコネクターは、本機の背面に1個あります。



2 ケーブルの片側のインターフェースコネクターをコンピューターのプリンター用コネクターに接続します。

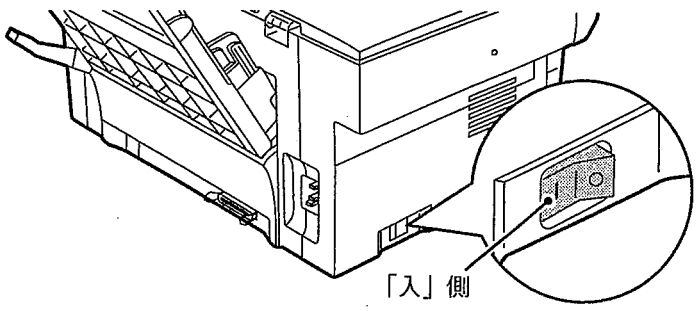
メモ コンピューターのプリンター用コネクターの位置については、お手持ちのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ご注意 本機では、プリンター切替機（複数のパソコンやプリンターを切り替えて使用する機器）の種類によっては使用できない機器があります。

本機の電源を入れる

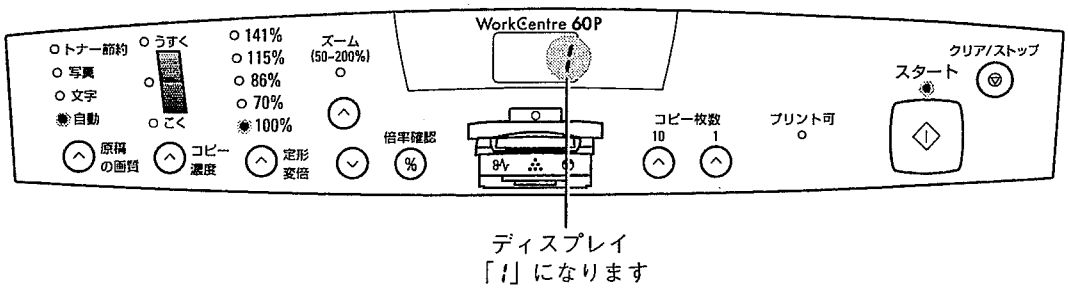
本機の左側面にある電源スイッチを「入」（｜）側にします。操作パネル右側のスタートランプが点灯し、操作パネルが標準状態を表してコピー可能状態になります。
標準状態については、次項の「標準状態の操作パネル」を参照してください。

メモ
- 電源を入れてからまたはコピー終了後、操作パネルを操作しない状態が一定時間続くと、自動的にオートパワーシャットオフモードに入ります。このとき、スタートランプが点滅します。
  オートパワーシャットオフモードに入る時間は変更することができます。変更する場合は、「予熱モード・オートパワーシャットオフモード・自動解除モードを設定する」（☞ 31ページ）を参照してください。
- 何らかの設定（例：コピー枚数を10枚と設定）をしてコピーした後、一定時間が経過すると自動的に標準状態に戻ります。この機能を自動解除モードとよび、設定時間を変更することができます。変更する場合は、「予熱モード・オートパワーシャットオフモード・自動解除モードを設定する」（☞ 31ページ）を参照してください。



標準状態の操作パネル

電源を入れてスタートランプが点灯したときや、コピーを終了した後の自動解除モードがはたらいたときの操作パネルの状態を標準状態といいます。
標準状態の設定は次の通りです。



ご注意　本機の左側面の固定ねじを取り付けたまま電源を入れると、操作パネルに「L 1」とエラーコードが表示されます。その場合は一旦電源を切り、固定ねじを取り外し、再度電源を入れてください。

3 用紙について

本機が正しく動作し、紙づまりなどを発生させずにコピーするためには、本機の仕様に合った用紙を選んでご利用ください。

ご注意 市販されている特殊紙にはさまざまな種類があり、なかには本機で使用できないものもあります。ご使用になる際は、カストマーサポートセンターへお問い合わせください。

使用できる用紙とサイズを確認する

用紙をセットする前に、使用できる用紙とサイズを確認します。

使用できる用紙の種類とサイズ

用紙の種類や品質によってコピーの品質が異なってきます。必ず、次の仕様に合った種類、サイズ、坪量の用紙を使用してください。

用紙の種類	サイズ（mm）		坪量（g/m²）*1	給紙トレイ容量（枚）
普通紙	A4	(210×297) *2	56～80	250
	B5	(182×257) *2		
	A5	(148×210) *2		
	レター	(215.9×279.4)	81～90	200
	リーガル	(215.9×355.6)		
特殊用紙	官製はがき	(100×148)	52～130	1枚ずつセットしてください
	封筒：長形3号	(120×235)		
	OHPフィルム	(A4サイズ：210×297) *3		
	ラベル紙	(A4サイズ：210×297) *4		

*1 坪量とは、1m²あたりの重さのことです。
*2 当社の推奨する用紙を使用してください。 (☞ 83ﾍﾟｰｼﾞ)
*3 カストマーサポートセンターへお問い合わせください。
*4 台紙全体がおおわれているものを使用してください。

ご注意
- 普通紙でコピーする場合は、ヨコ目の用紙は使わないでください。ヨコ目の用紙を使用すると、紙づまりの原因になります。
- 往復はがきは使用できません。
- OHPシート、ラベル紙のコピーは、高温高湿の環境では、後端に字抜け、コピーむら、かけ線が起こることがあります。コピー品質を重視する場合は空調を効かせた常温常湿の環境でお使いください。

使用できない用紙について

次のような用紙は使用しないでください。紙づまりや故障の原因となることがあります。

- 破れているものや折り目、しわがあるもの
- 湿気を帯びたり、乾燥しているもの
- カールしているもの
- ステープル、クリップのような金属製のものがついているもの
- パンチ穴、ミシン目、穴、窓があるもの
- 浮き出し模様があるもの
- 紙の表面に特殊コートが施されたもの、表面加工されたカラー用紙
- 表面が荒いもの、つるつるしすぎるもの
- 糊付け製本したものをばらしたようなもの
- レーザープリンターで一度印刷をしているもの
- 本機以外のコピー機で一度コピーしているもの

ご注意

- 推奨紙以外を使用する場合は、前もって正しくコピーできることを確認してから使用してください。
- 裁断した紙を使用する場合、裁断部分のバリにひっかかり紙づまりを起こすことがあります。この場合は、裏返してお試しください。

特殊紙を使用する場合は、次のような状態のものは使用しないでください。紙づまりや故障の原因となることがあります。

はがき

- 切手が貼ってあるもの
- 特殊な印刷がされているもの

封筒

- ざら紙のような繊維の粗いもの
- 光沢のあるもの
- カーボン紙、和紙
- 2つ以上の折り返しがあるもの
- すでにラベルや切手が貼られているもの
- 折り返しの、のりしろ部分に水をつけるとのりになるもの
- 折り返しの、のりしろ部分にテープ、フィルム、紙が貼られているもの
- 折り返しが折られているもの
- 空気が入り、ふくらんでいるもの
- 接着部分からのりがはみだしているもの
- 金属タブ、留め金、ひも、穴、窓があるもの

ラベル紙

- ラベルがはがれかかっているもの
- 表面にのりがはみ出しているもの
- 台紙全体がラベルでおおわれていないもの

OHPシート

- 印刷時の熱（約200℃）で変形するもの
- 台紙がついているもの

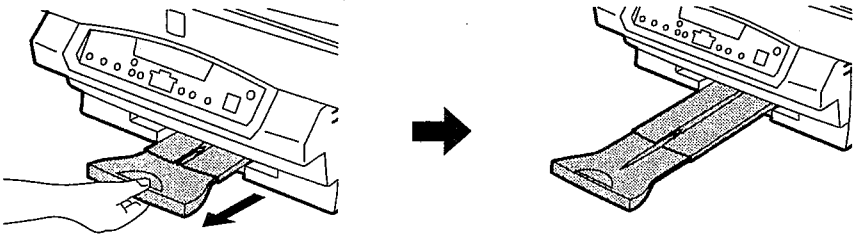
4 コピーをする

基本的なコピーのとり方や両面コピーのとり方など、さまざまなコピーのとり方について説明しています。

基本的なコピーのとり方

1 給紙トレイにコピーしたいサイズの用紙をセットしていることを確認します。「給紙トレイと用紙をセットする」（☞ 17ページ）を参照してください。

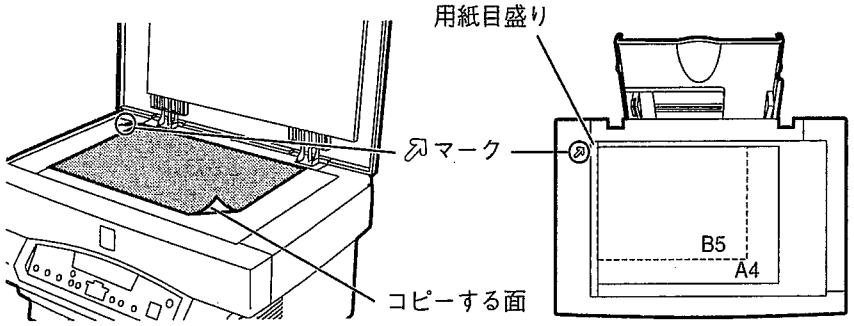
2 排紙トレイを図のように止まるところまで引き出します。



3 本機の電源スイッチを入れます。

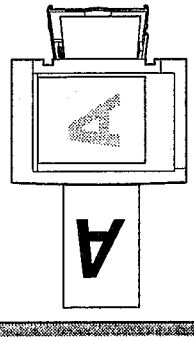
4 原稿カバーを開きます。

5 原稿はコピーしたい面を下に向け、用紙メモリーのサイズに合わせてセットします。（↗マークに原稿のカドを合わせてください。）大きな原稿をコピーする場合は、次項の「大きな原稿をセットする」（☞ 26ページ）を参照してください。

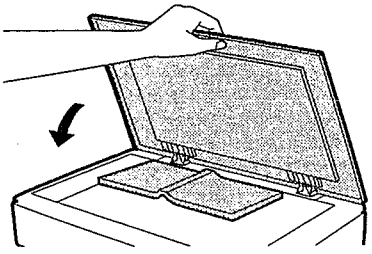


ご注意

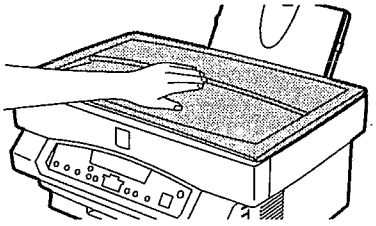
原稿と用紙はつねに90度回転した状態でコピーされます。用紙はたて長にセットし、原稿はつねによこ長に置いてください。



6 原稿カバーを静かに閉じます。
本、折り目またはしわのある原稿をコピーしたいときは、原稿カバーを軽く押さえながらコピーしてください。原稿カバーがきっちり閉まっていない状態でコピーすると、コピー画像に影が出たり画像がぼやけたりすることがあります。



本、折り目、しわのある原稿の場合

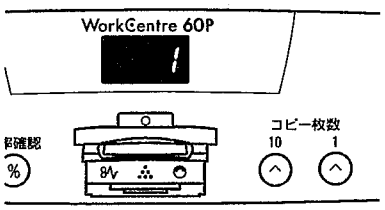


7 枚数セットキーでコピー枚数を設定します。

メモ
- 設定枚数を変更したいときは、クリア／ストップキー◎を押してから正しく設定しなおしてください。
- コピー枚数の設定は最大50です。

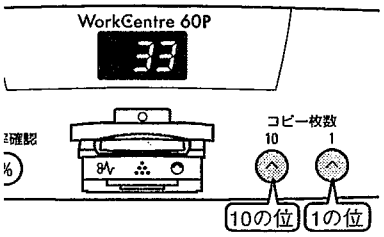
1枚だけコピーする場合

ディスプレイが「1」に表示されたままでもコピーできます。



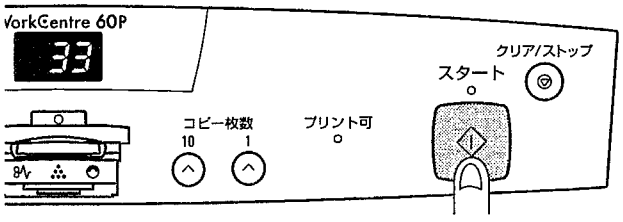
連続でコピーする場合

右側のキーで1の位（0～9）をセットします。
左側のキーで10の位（10～50）までをセットします。



8 スタートキー◇を押します。

メモ
- 連続コピー中はコピー済の枚数が表示され、左側の10桁キーを押すと、押している間設定したコピー枚数がコピー枚数表示部に表示されます。
- 連続コピーを中止するには、クリア／ストップキー◎を押します。
- コンピューターから印刷をしているときにスタートキー◇を押すと、印刷は一時中断され、コピーが優先して行われます。コピー終了後、印刷が行われます。

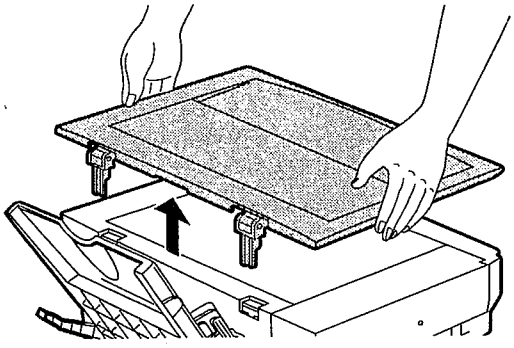


ご注意 原稿カバーを開けたままコピーをとるときは。ランプ光を見つめないでください。

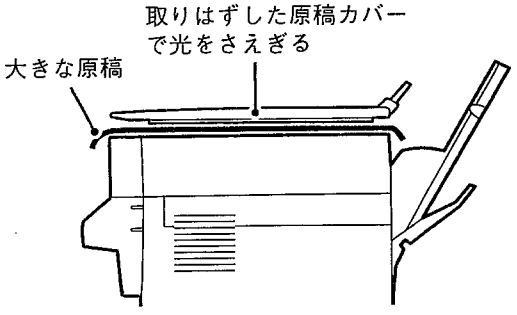
大きな原稿をセットする

新聞などの大きな原稿や原稿を折り曲げたくないときは、次の手順で原稿カバーを取り外してから原稿をセットしてください。

1 原稿カバーを閉じた状態のまま、まっすぐ持ち上げてはずします。



2 とりはずした原稿カバーを原稿の上に置いて、コピー内部からの光をさえぎってください。



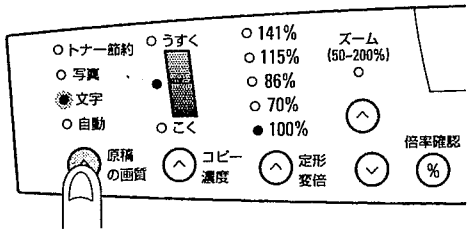
3 コピーが終了したら、原稿カバーを戻します。

コピーの濃さを変える／写真をコピーする

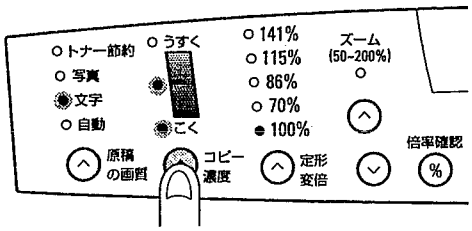
標準状態では、コピーする原稿に合わせて濃度を自動的に調整する「自動濃度調整」がはたらいています。濃度を調節したいときや、写真の中間階調をより鮮明にしたいときは、5段階で濃度設定を行うことができます。

1 原稿をセットし、給紙トレイにコピーしたいサイズの用紙をセットしていることを確認します。

2 画質切換キーを押し、文字ランプを点灯させます。写真をコピーするときは写真ランプを点灯させます。



3 濃度調整キーを押してコピー濃度を調整します。
中間値を設定すると、ランプが2個同時に点灯します。



4 コピー枚数を枚数セットキー⊙で設定し、スタートキー◇を押します。

コピーを拡大・縮小する

50%～200%の範囲で拡大・縮小コピーがとれます。また定形変倍キーで、あらかじめ設定されている5種類（70%、86%、100%、115%、141%）の倍率を素早く選ぶことができます。

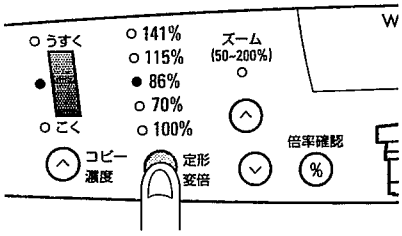
1 原稿をセットし、給紙トレイにコピーしたいサイズの用紙をセットしていることを確認します。

2 定形変倍キーまたは、ズームキーで倍率を選びます。
（定形変倍キーからズームキーへ移るとき、いったん100%に倍率がもどります。）

メモ
- ズームキーで設定した倍率を確認したいときは、倍率確認キーを押しつづけてください。押しているあいだ、コピー枚数表示部に倍率が表示されます。
- 倍率を等倍（100%）に戻すには、倍率選択キーを押して100%の表示ランプを点灯させてください。

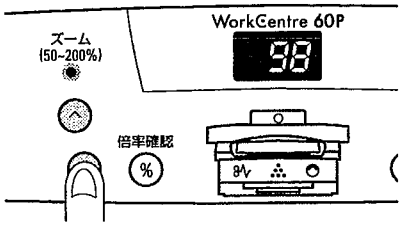
固定倍率を選ぶ場合

定形変倍キーを押して、倍率を設定します。



ズーム倍率を選ぶ場合

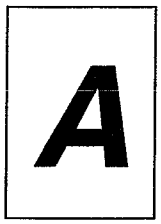
ズームキー⊙⊙を押すと、ズームランプが点灯しコピー枚数表示部に倍率が表示されます。



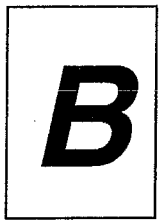
3 コピー枚数を枚数セットキー⊙で設定し、スタートキー◇を押します。

両面にコピーをする

次の手順は、原稿Ⓐと Ⓑを両面コピーする場合を例にして説明しています。



原稿 Ⓐ



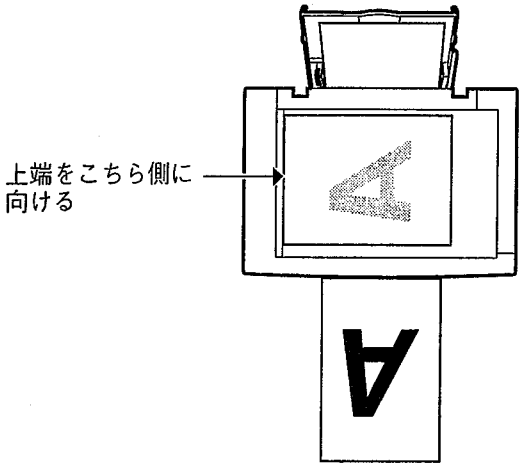
原稿 Ⓑ

原稿の表裏について

原稿が表向きの状態です。

原稿が裏向きの状態です。

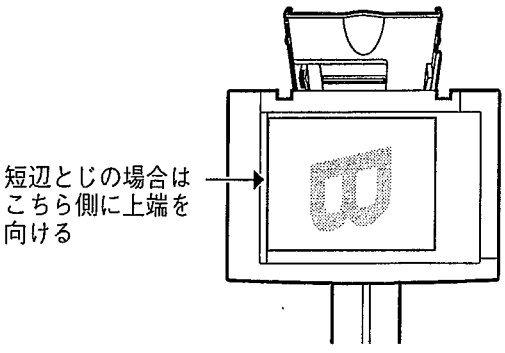
1 原稿Ⓐを図のようにコピーします。

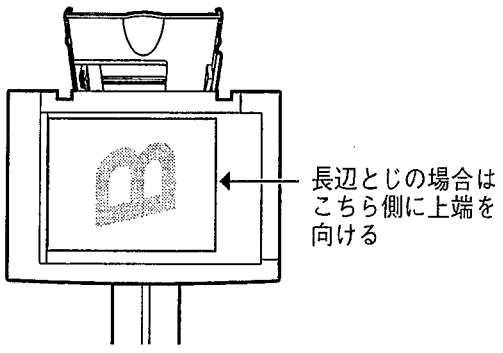


2 原稿Ⓑを原稿Ⓐとは原稿上端の向きを逆向きでセットします。

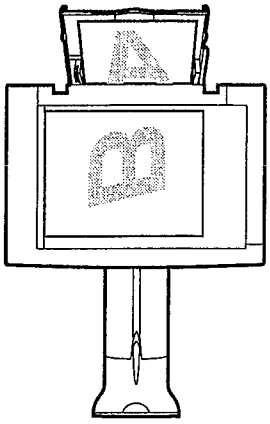
ご注意

- 裏面へのコピーは、必ず1枚ずつ挿入してください。
- カールや波うちの大きい用紙は、平らにしてからご使用ください。シワ寄りや紙づまり、写り不良の原因となります。

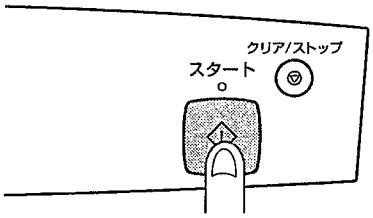




3 原稿Ⓐをコピーした用紙を図のような向きで裏返し、給紙トレイにセットします。



4 スタートキー[◇]を押します。



5 便利な機能

この章でできること

この章では、次の便利な機能があります。
目的に合わせて、機能の設定または変更をしてください。

消費電力を節約する（☞ 31 ページ）

消費電力を節約する機能には、次の２つがあります。

●予熱モード
ここで設定した時間、コピーの操作をしない状態が続くと、自動的に通常の消費電力から29Whまで下げます。この状態のとき操作パネルのスタートランプが点滅します。設定範囲は、45秒、90秒、2分、5分、シナイです。初期設定は、90秒に設定されています。予熱モードを解除するには、操作パネルで何らかの操作（枚数設定キーで枚数を設定など）をしてください。自動的にモードが解除されます。

●オートパワーシャットオフモード
ここで設定した時間、コピーの操作をしない状態が続くと、自動的に通常の消費電力から17Whまで下げます。この状態のとき操作パネルのスタートランプが点滅し、他の表示ランプはすべて消灯します。設定範囲は、2、5、15、30、60、120（分）、シナイです。初期設定は、5分に設定されています。オートパワーシャットオフモードを解除するには、スタートキー◇を押してください。自動的にモードが解除されます。

操作パネルの設定を自動解除する（自動解除モード）（☞ 31 ページ）

何らかの設定（例：コピー枚数を 10枚と設定）をしてコピーした後、一定時間が経過すると自動的に標準状態（☞ 21ページ）に戻ります。設定範囲は 30、60、90、120秒、シナイです。初期設定は、60秒に設定されています。

メモ 予熱モード、オートパワーシャットオフモードの消費電力の数値は、使用環境状況によって変わる場合があります。

予熱モード・オートパワーシャットオフモード・自動解除モードを設定する

1 画質切換キー◠で、トナー節約モードにしてから、再度、画質切換キーを約5秒間押しつづけます。
「∴」、「○」、「8∿」の表示ランプが同時に点滅します。

2 枚数セットキーの10桁キー（左側のキー）◠(10)を押します。
たとえばディスプレイから予熱モードを設定する場合は「2」、オートパワーシャットオフモードの時間を設定する場合は「3」、自動解除モードを設定する場合は「1」を選択します。

3 スタートキー◈を押します。
手順2で選択した数値が点滅から点灯に変わり、ディスプレイの1の位の数字が点滅します。

4 枚数セットキーの1桁キー（右側のキー）◠(1)を押し、次の選択コード表を参照して時間を選択します。
例：オートパワーシャットオフモードの15分を設定したい場合は、設定コード「2」を◠(1)キーで選択します。

選択コード表

プログラム番号	機能	設定コード
1	自動解除モード	0（設定しない）、1（30秒）、2（60秒）*、3（90秒）、4（120秒）
2	予熱モード	0（設定しない）、1（45秒）、2（90秒）*、3（2分）、4（5分）
3	オートパワーシャットオフモード	0（2分）、1（5分）*、2（15分）、3（30分）、4（60分）、5（120分）、6（設定しない）
15	用紙幅検知モード ※	0（設定しない）、1（設定する）*

＊初期設定値です。

※ **用紙幅検知モードとは**
給紙トレイにセットされている用紙の幅がA4サイズの幅（210mm）より小さいとき、原稿を自動的にB5サイズの幅（182mm）で読み取ります。

5 スタートキー◈を押します。
手順4で選択した数値が点滅から点灯に変わります。

メモ このとき、設定の変更や別の機能を設定したい場合は、クリア／ストップキー⊗を押してください。手順2から設定することができます。

6 画質切換キー◠を押します。設定が終了し、コピー可能状態にもどります。

6 プリンターとして使用する

プリンタードライバーのインストール方法や印刷方法の設定など、実際に印刷するときに必要となることについて説明しています。印刷するときにお読みください。

プリンタードライバーをインストールする

本機で印刷するには、プリンタードライバーをインストールする必要があります。

プリンタードライバーとは？

プリンタードライバーは、印刷時のコマンドをプリンターの制御コードに変換して送信（または受信）するソフトウェアです。

コンピューターの動作環境を確認する

プリンタードライバーをインストールするために必要なコンピューターの動作環境は次のとおりです。インストールする前に確認してください。

コンピューターの機種	双方向パラレルインターフェースを装備している次の機種 ● IBM PC-AT、およびその互換機（DOS/V機） ● NEC PC-9821シリーズ
Windowsの種類	日本語版 Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0
CPU	486DX 66MHz以上
メモリー	Windows 95：8Mバイト以上（16Mバイト以上推奨） Windows 98、Windows NT 4.0：16Mバイト以上（32Mバイト以上推奨）
仮想メモリー（ｽﾜｯﾌﾟﾌｧｲﾙ）	8Mバイト以上
ディスプレイ	640×480ドット（VGA）以上
ハードディスクの空き容量	10Mバイト以上

メモ　メモリーの一部をRAMディスクとして使用している場合は、プリンタードライバーへのメモリーの割り当てが足りなくなることがあります。この場合、RAMディスクのサイズを減らすか、使用しないようにしてください。

ご注意　本機に付属のプリンタードライバーは、Windows 3.1、Windows NT3.5x、OS/2、MS-DOSおよびその他のオペレーティングシステムでは使用できません。

プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーは付属のCD-ROMを使ってインストールします。
インストールの前に、次のことを確認してください。

- 本機がコンピューターと正しく接続されていますか？
- 本機に用紙がセットされていますか？
  使用できる用紙およびトレイへのセット方法は、「使用できる用紙の種類とサイズ」（☞22ページ）、「給紙トレイと用紙をセットする」（☞17ページ）を参照してください。
- 他のGDIプリンターのドライバーまたはWindows Printing Systemのプリンタードライバーがインストールされていませんか？インストールされているときはプリンターのポートを変更してください。ポートの変更のしかたは、「複数のプリンターと一緒に使用するには（☞60ページ）を参照してください。（他のプリンターのWindows Printing Systemやプリンタードライバーとは同時に使用できません）

◆ Windows® 95にインストールする

1 パソコンの電源を切ります。

2 WorkCentre 60Pとパソコンがパラレルケーブルで接続されていることを確認して、WorkCentre 60Pの電源スイッチを入れます。

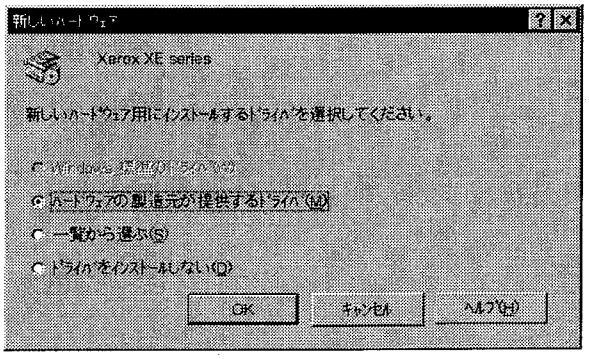
3 パソコンの電源を入れて、Windows® 95を起動します。

4 新たに接続したWorkCentre 60Pが認識され、「新しいハードウェア」ダイアログボックス、または「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスがパソコンの画面に表示されます。

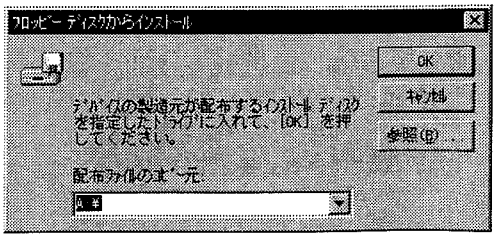
メモ

- 「新しいハードウェア」ダイアログボックス、「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスのいずれも表示されない場合は、「「ファイル名を指定して実行」からのインストール」☞ 38ページに進んでください。
- Windows® 95のバージョンによって、「新しいハードウェア」ダイアログボックス、「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスのどちらが表示されるのかが決まります。

「新しいハードウェア」ダイアログボックスが表示された場合（「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスが表示された場合は、☞ 34ページへ）

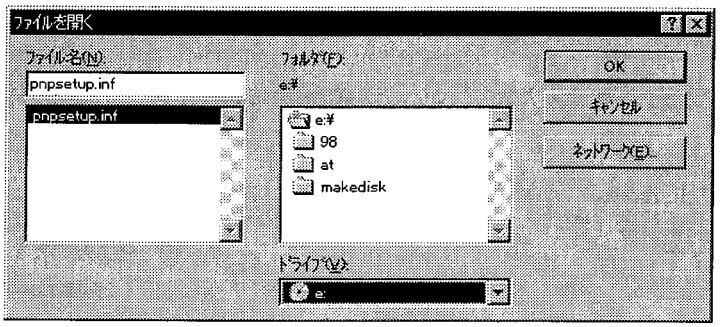


4-1 **ハードウェアの製造元が提供するドライバ**を選択して、**OK**ボタンをクリックします。
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。



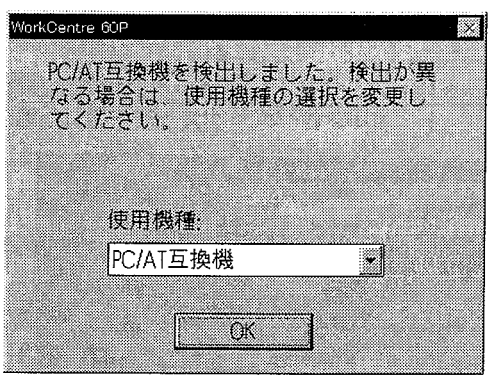
4-2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

4-3 **参照**ボタンや▼ボタンをクリックしてCD-ROMを挿入したドライブ名：￥（例えば、CD-ROMをDドライブに挿入した場合は、**D：￥**）と入力します。

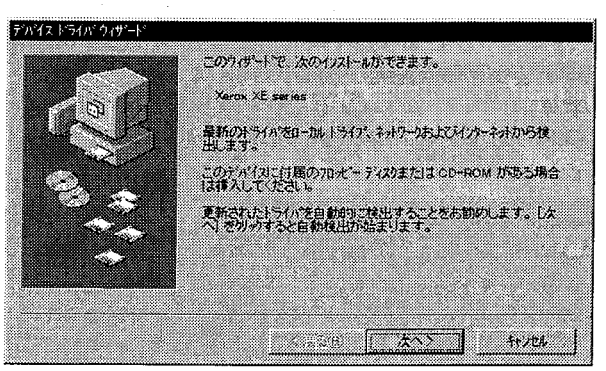


4-4 下のダイアログボックスが表示されるまで、**OK**ボタンをクリックします。

パソコンの機種（PC/AT互換機またはNEC PC-9821シリーズ）を選択するダイアログボックスが表示されます。
手順5 ☞ 36ページ へ進んでください。



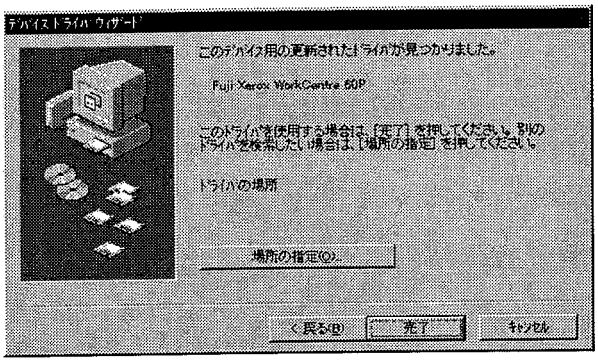
「デバイスドライバーウィザード」ダイアログボックスが表示された場合（「新しいハードウェア」ダイアログボックスが表示された場合は、☞ 33ページへ）



4-1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

4-2 **次へ**ボタンをクリックします。

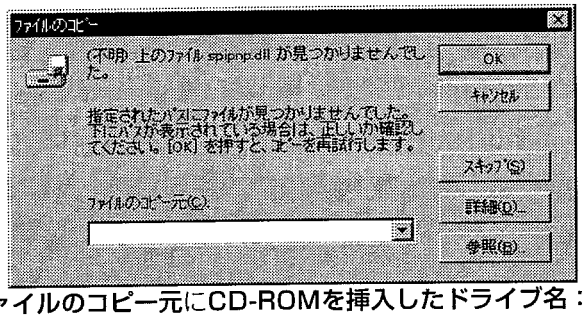
次のダイアログボックスが表示されます。



4-3 **完了**ボタンをクリックします。

メモ

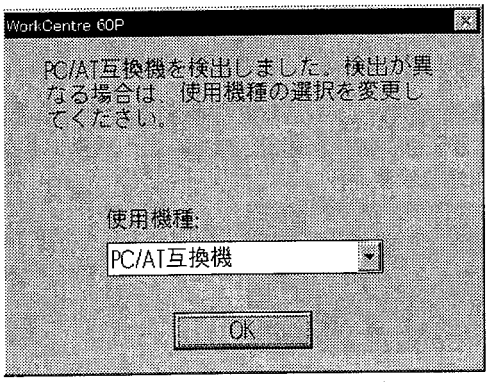
ファイルのコピー中に次のダイアログボックスが表示されることがあります。



ファイルのコピー元にCD-ROMを挿入したドライブ名：¥（例えば、CD-ROMをDドライブに挿入した場合は、**D：¥**）と入力して、**OK**ボタンをクリックします。

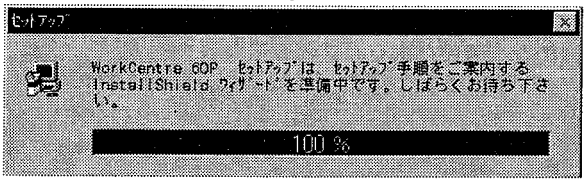
パソコンの機種（PC/AT互換機またはNEC PC-9821シリーズ）を選択するダイアログボックスが表示されます。

手順5 ☞ 36ページ へ進んでください。

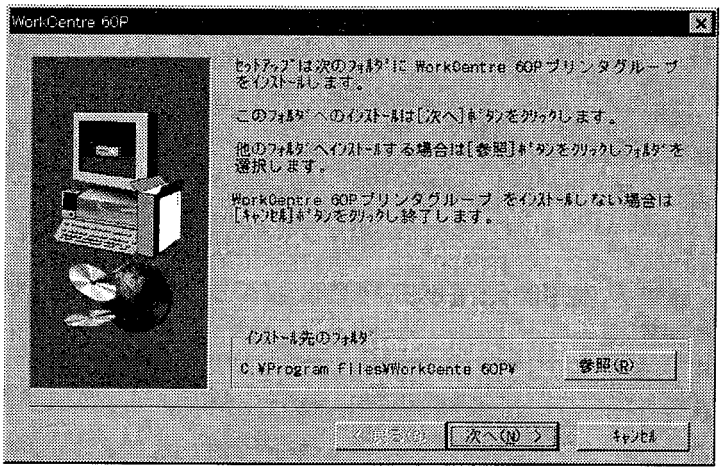


5 **使用機種：**に使用しているパソコンの機種が表示されていることを確認し、**OK**ボタンをクリックします。

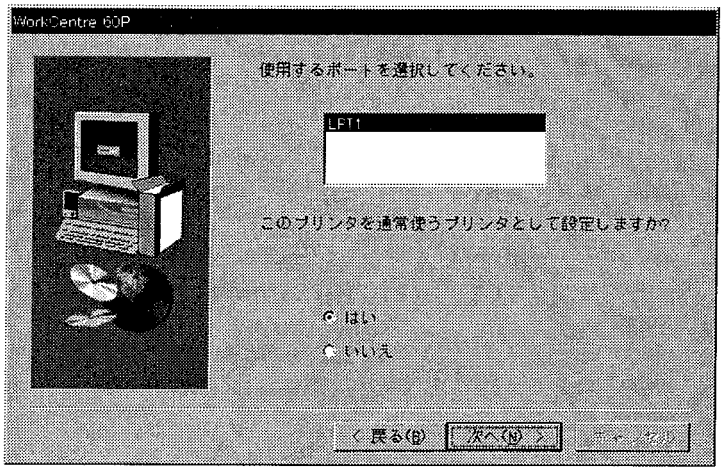
セットアッププログラムが起動します。



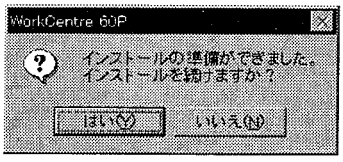
6 インストール先を指定するダイアログボックスが表示されます。



7 **インストール先のフォルダ**を変更する場合は、**参照**ボタンをクリックしてインストール先を指定します。**次へ**ボタンをクリックします。　使用するポートを選択するダイアログボックスが表示されます。

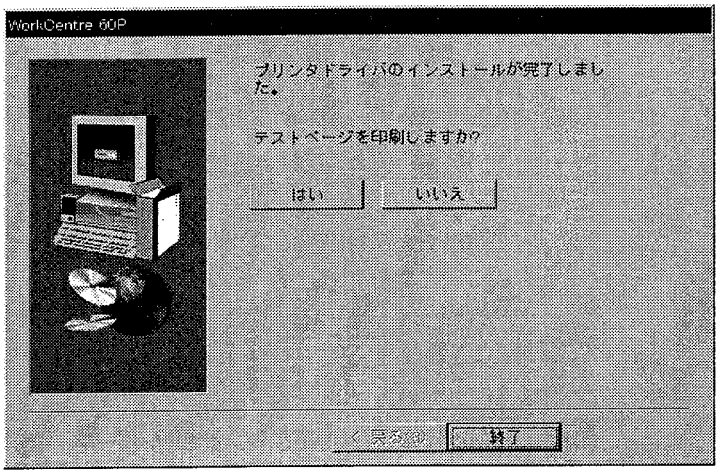


8 使用するポートにLPT1が選択されていることを確認します。**このプリンタを通常使うプリンタとして設定しますか?**は、**はい**を選択します。**次へ**ボタンをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。



9 **はい**ボタンをクリックします。
プリンタードライバーのコピーが始まります。

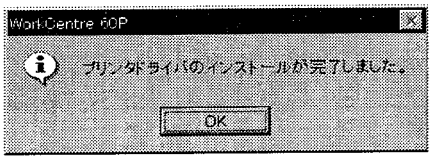
10 プリンタードライバーのコピーが終わると、次のダイアログボックスが表示されます。



11 **テストページを印刷しますか?**で、**はい**ボタンをクリックします。
WorkCentre 60Pで、テストページの印刷が始まります。パソコンの画面では、ステータスモニターが印刷の状況を表示します。

> メモ　テストページの印刷が始まるまで、5~6分かかることがあります。

12 テストページの印刷が終了したら、**終了**ボタンをクリックします。
次のダイアログボックスが表示されます。



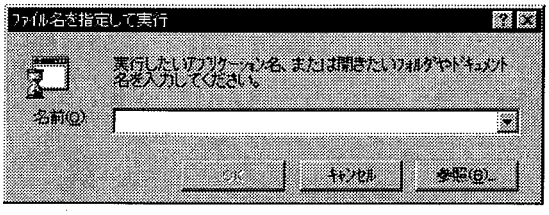
> メモ　テストページが印刷できなかった場合は、**終了**ボタンをクリックして、インストールを終了します。「こんな表示が出たら」☞ 80ページを参照して、原因を取り除いてください。その後、WorkCentre 60Pのプロパティから印字テスト（**スタート**ボタン → **設定** → **プリンタ** → **WorkCentre 60P**のプリンターアイコンを右ボタンでクリック → **プロパティ** → **印字テスト**ボタン）を行い、WorkCentre 60Pとパソコンが正しく接続されていることを確認します。

13 **OK**ボタンをクリックします。
これで、プリンタードライバーのインストールは終了です。「WorkCentre 60Pプリンターグループについて」☞ 52ページに進んでください。

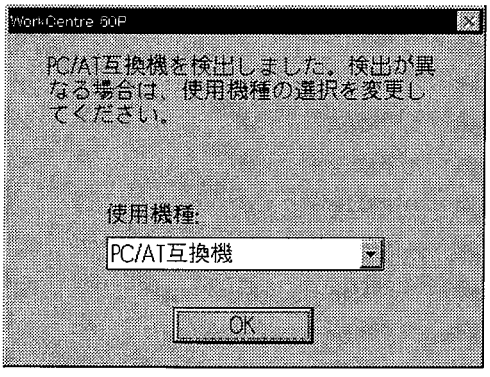
- **「ファイル名を指定して実行」からのインストール**

1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

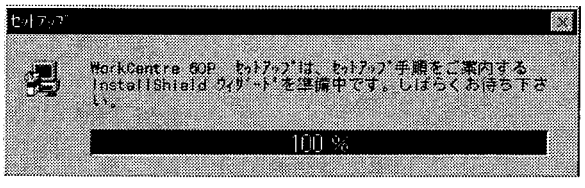
2 Windows® 95の**スタート**ボタンをクリックし、**ファイル名を指定して実行**を選択します。
「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。



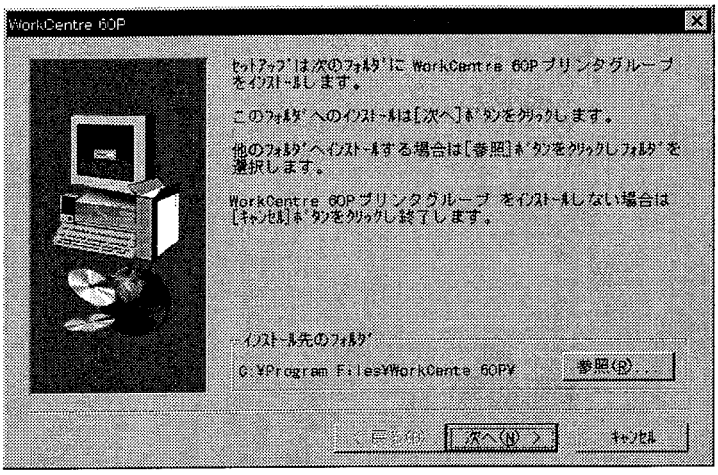
3 **名前にCD-ROMを挿入したドライブ名：¥ SETUP** (例えば、CD-ROMをDドライブに挿入した場合は、**D：¥SETUP**) と入力して、**OK**ボタンをクリックします。
パソコンの機種 (PC/AT互換機またはNEC PC-9821シリーズ) を選択するダイアログボックスが表示されます。



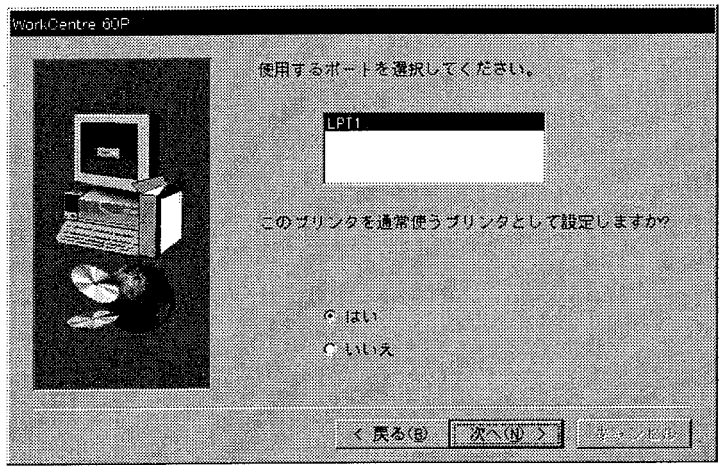
4 **使用機種：**に使用しているパソコンの機種が表示されていることを確認し、**OK**ボタンをクリックします
セットアッププログラムが起動します。



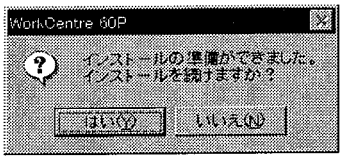
5 インストール先を指定するダイアログボックスが表示されます。



6 **インストール先のフォルダ**を変更する場合は、**参照**ボタンをクリックしてインストール先を指定します。**次へ**ボタンをクリックします。使用するポートを選択するダイアログボックスが表示されます。

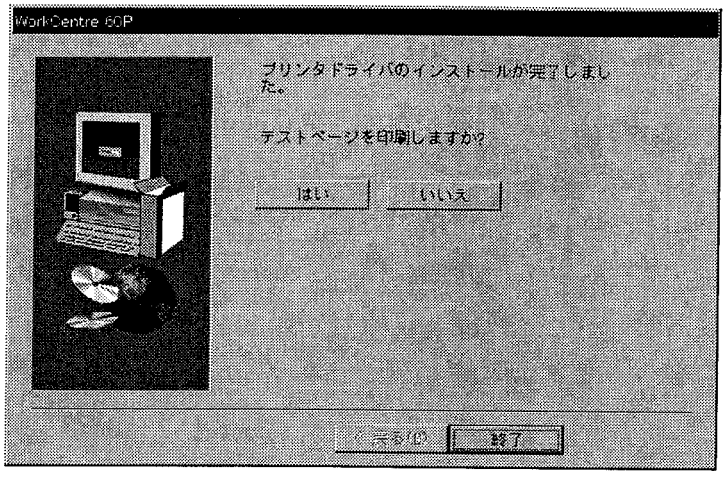


7 使用するポートに**LPT1**が選択されていることを確認します。**このプリンタを通常使うプリンタとして設定しますか?**は、**はい**を選択します。**次へ**ボタンをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。



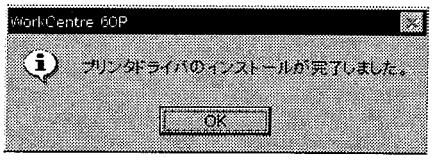
8 **はい**ボタンをクリックします。
プリンタードライバーのコピーが始まります。

9 プリンタードライバーのコピーが終わると、次のダイアログボックスが表示されます。



10 **テストページを印刷しますか?**で、**はい**ボタンをクリックします。
WorkCentre 60Pで、テストページの印刷が始まります。パソコンの画面では、ステータスモニターが印刷の状況を表示します。

11 テストページの印刷が終了したら、**終了**ボタンをクリックします。
次のダイアログボックスが表示されます。



メモ テストページが印刷できなかった場合は、**終了**ボタンをクリックして、インストールを終了します。「こんな表示が出たら」☞80ページを参照して、原因を取り除いてください。その後、WorkCentre 60Pのプロパティから印字テスト(**スタート**ボタン → **設定** → **プリンタ** → **WorkCentre 60P**のプリンターアイコンを右ボタンでクリック → **プロパティ** → **印字テスト**ボタン)を行い、WorkCentre 60Pとパソコンが正しく接続されていることを確認します。

12 **OK**ボタンをクリックします。
これで、プリンタードライバーのインストールは終了です。「WorkCentre 60Pプリンターグループについて」☞52ページに進んでください。

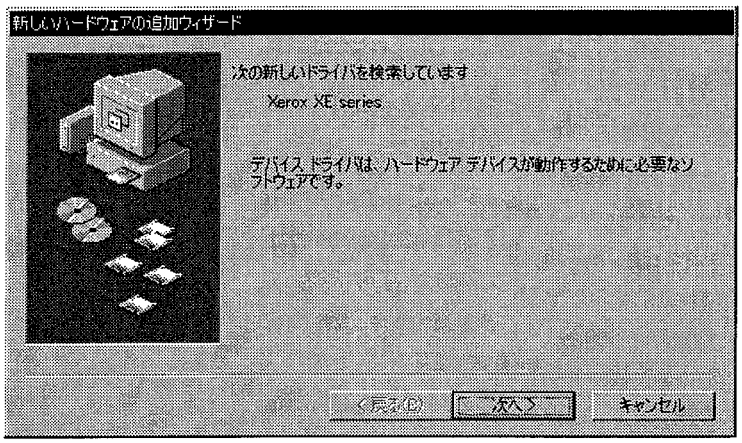
◆ Windows® 98にインストールする

1 パソコンの電源を切ります。

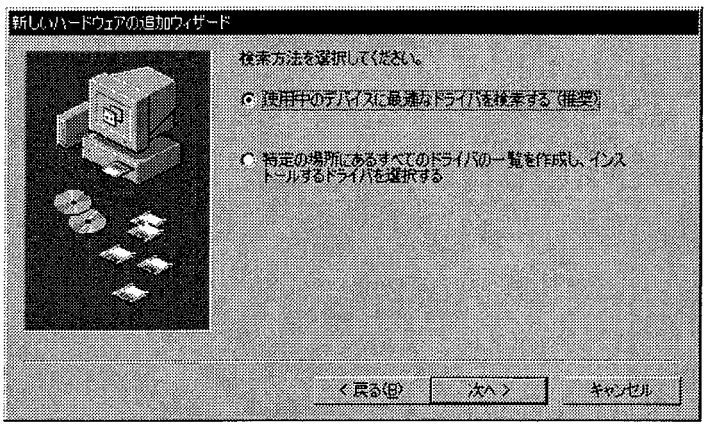
2 WorkCentre 60Pとパソコンがパラレルケーブルで接続されていることを確認して、WorkCentre 60Pの電源スイッチを入れます。

3 パソコンの電源を入れて、Windows® 98を起動します。

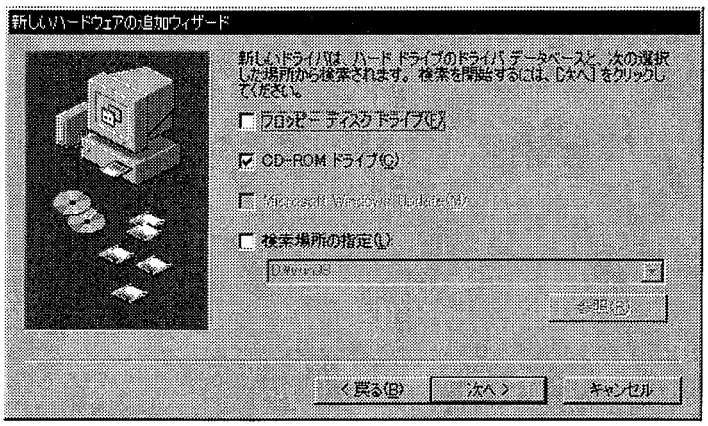
4 新たに接続したWorkCentre 60Pが認識され、パソコンの画面に「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。



5 **次へ**ボタンをクリックします。
次のダイアログボックスが表示されます。

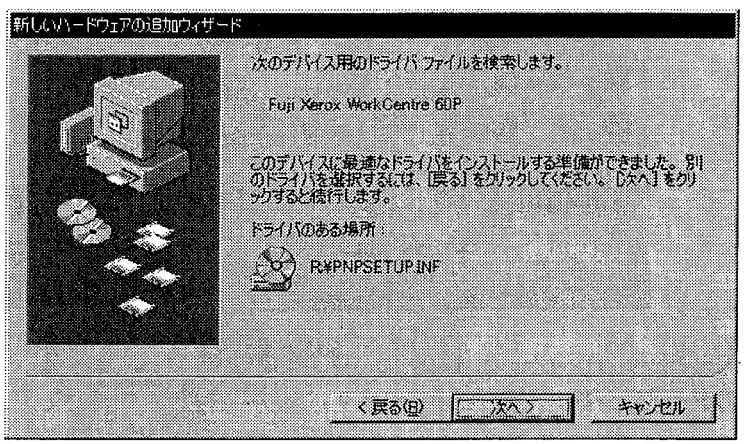


6 **使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)** を選択して、**次へ**ボタンをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。

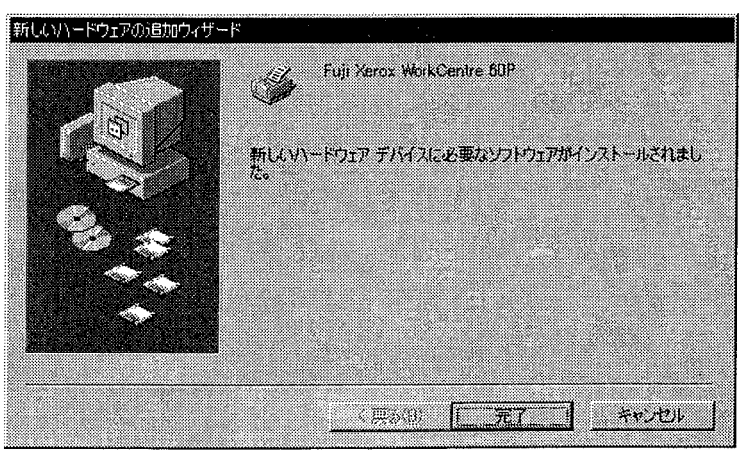


7 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

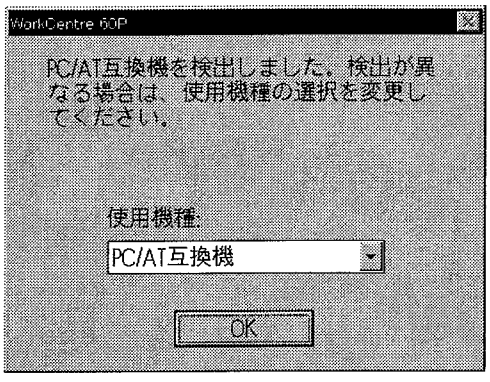
8 検索する場所に**CD-ROMドライブ**を選択して、**次へ**ボタンをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。



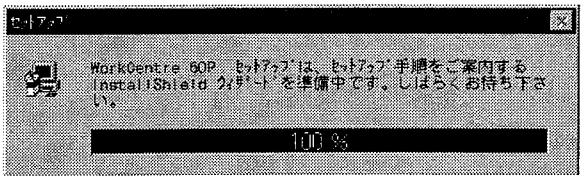
9 **次へ**ボタンをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。



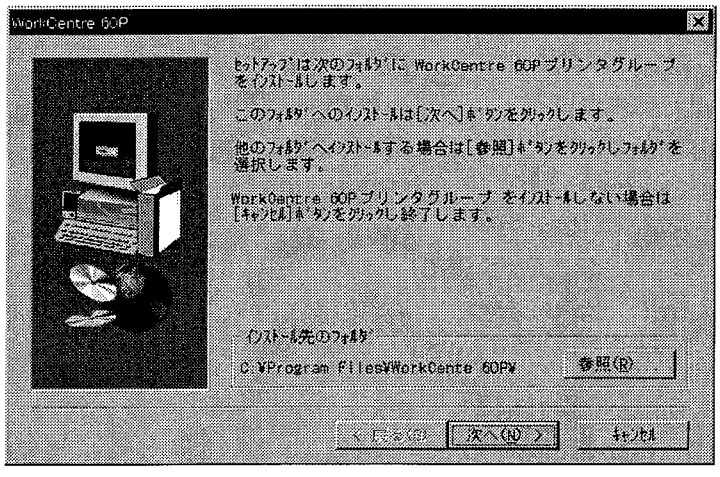
10 **完了**ボタンをクリックします。
パソコンの機種 (PC/AT互換機またはNEC PC-9821シリーズ) を選択するダイアログボックスが表示されます。



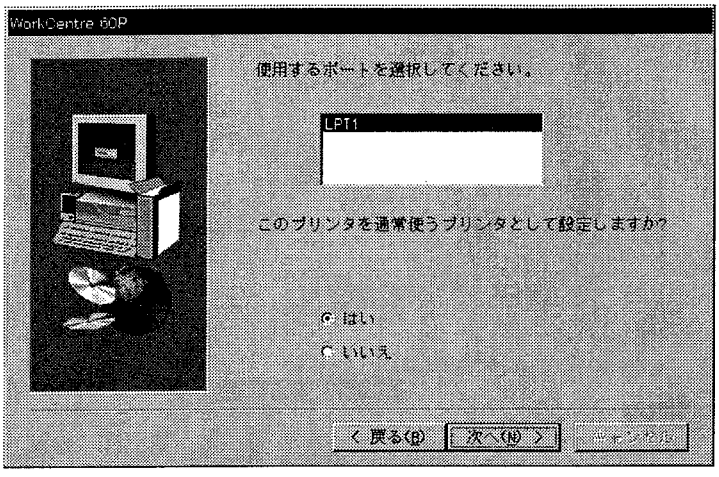
11 **使用機種：**に使用しているパソコンの機種が表示されていることを確認し、**OK**ボタンをクリックします。
セットアッププログラムが起動します。



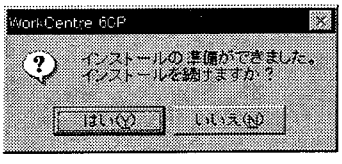
12 インストール先を指定するダイアログボックスが表示されます。



13 **インストール先のフォルダ**を変更する場合は、**参照**ボタンをクリックしてインストール先を指定します。**次へ**ボタンをクリックします。使用するポートを選択するダイアログボックスが表示されます。

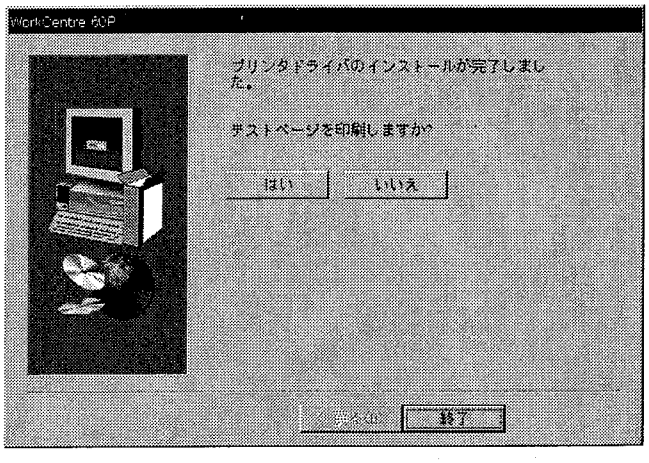


14 使用するポートに**LPT1**が選択されていることを確認します。
このプリンタを通常使うプリンタとして設定しますか? は、**はい**を選択します。
次へボタンをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。



15 **はい**ボタンをクリックします。
プリンタードライバーのコピーが始まります。

16 プリンタードライバーのコピーが終わると、次のダイアログボックスが表示されます。

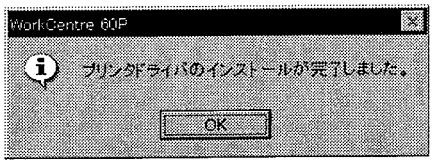


17 **テストページを印刷しますか?**で、**はい**ボタンをクリックします。

WorkCentre 60Pで、テストページの印刷が始まります。パソコンの画面では、ステータスモニターが印刷の状況を表示します。

18 テストページの印刷が終了したら、**終了**ボタンをクリックします。

次のダイアログボックスが表示されます。



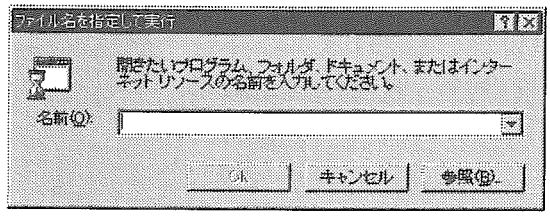
19 **OK**ボタンをクリックします。

これで、プリンタードライバーのインストールは終了です。「WorkCentre 60Pプリンターグループについて」☞ 52ページに進んでください。

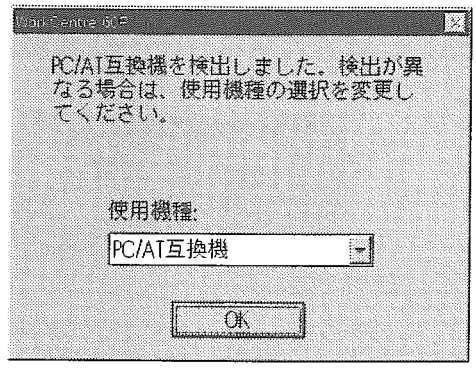
- **「ファイル名を指定して実行」からのインストール**

1 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

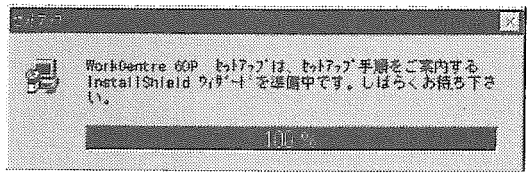
2 Windows® 98の**スタート**ボタンをクリックし、**ファイル名を指定して実行**を選択します。
「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。



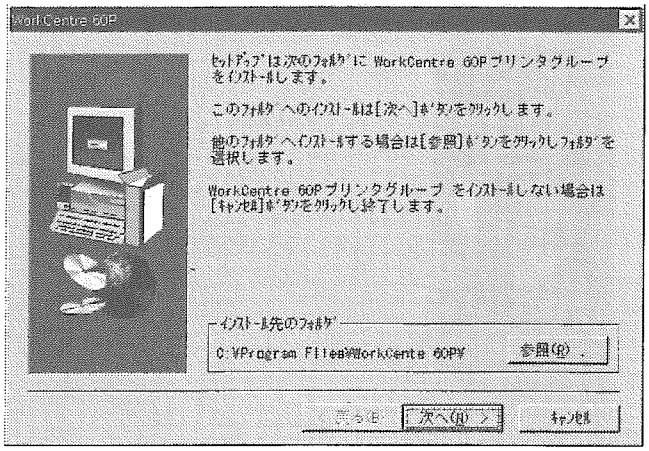
3 **名前にCD-ROMを挿入したドライブ名：¥ SETUP** (例えば、CD-ROMをDドライブに挿入した場合は、**D：¥SETUP**) と入力して、**OK**ボタンをクリックします。
パソコンの機種 (PC/AT互換機またはNEC PC) を選択するダイアログボックスが表示されます。



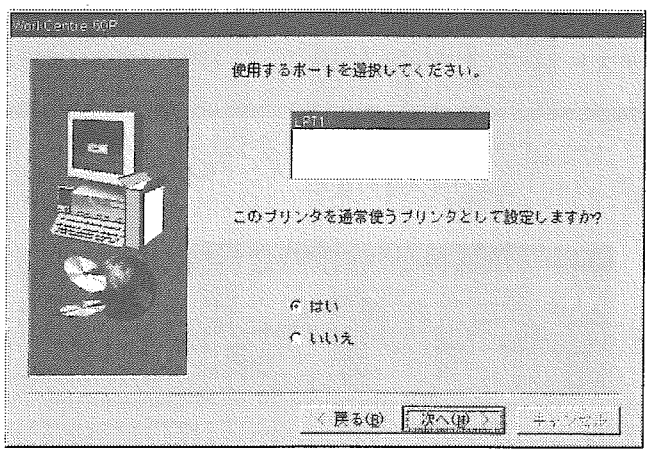
4 **使用機種：**に使用しているパソコンの機種が表示されていることを確認し、**OK**ボタンをクリックします。
セットアッププログラムが起動します。



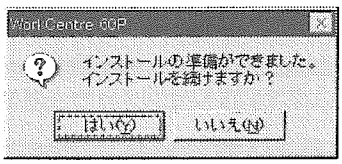
5 インストール先を指定するダイアログボックスが表示されます。



6 **インストール先のフォルダ**を変更する場合は、**参照**ボタンをクリックしてインストール先を指定します。
次へボタンをクリックします。
使用するポートを選択するダイアログボックスが表示されます。

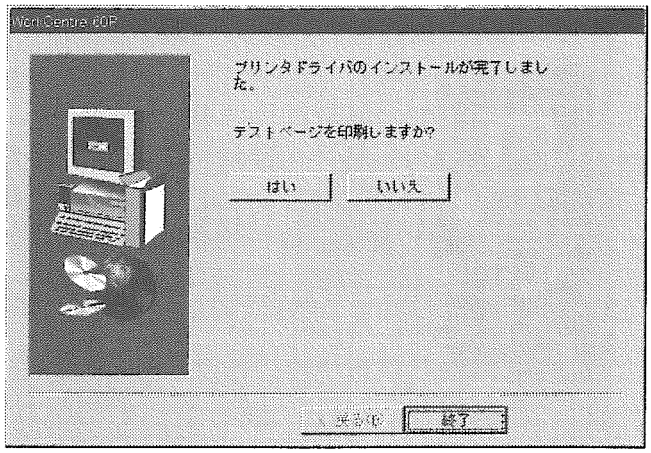


7 使用するポートに**LPT1**が選択されていることを確認します。
このプリンタを通常使うプリンタとして設定しますか?は、**はい**を選択します。
次へボタンをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。



8 **はい**ボタンをクリックします。
プリンタードライバーのコピーが始まります。

9 プリンタードライバーのコピーが終わると、次のダイアログボックスが表示されます。



10 **テストページを印刷しますか?**で、はいボタンをクリックします。

WorkCentre 60Pで、テストページの印刷が始まります。パソコンの画面では、ステータスモニターが印刷の状況を表示します。

> メモ テストページの印刷が始まるまで、5~6分かかることがあります。

11 テストページの印刷が終了したら、**終了**ボタンをクリックします。
次のダイアログボックスが表示されます。

> メモ テストページが印刷できなかった場合は、**終了**ボタンをクリックして、インストールを終了します。「こんな表示が出たら」☞ 80ページを参照して、原因を取り除いてください。その後、WorkCentre 60Pのプロパティから印字テスト (**スタート**ボタン → **設定** → **プリンタ** → **WorkCentre 60P**のプリンターアイコンを右ボタンでクリック → **プロパティ** → **印字テスト**ボタン) を行い、WorkCentre 60Pとパソコンが正しく接続されていることを確認します。

12 **OK**ボタンをクリックします。
これで、プリンタードライバーのインストールは終了です。「WorkCentre 60Pプリンターグループについて」☞ 52ページ に進んでください。

◆ Windows NT® 4.0にインストールする

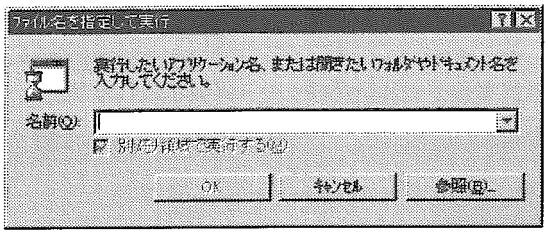
1 パソコンの電源を切ります。

2 WorkCentre 60Pとパソコンがパラレルケーブルで接続されていることを確認して、WorkCentre 60Pの電源スイッチを入れます。

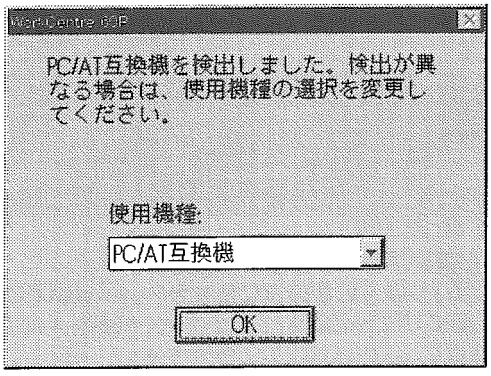
3 パソコンの電源を入れて、Windows NT® 4.0を起動します。

4 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

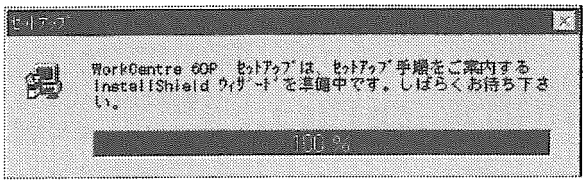
5 Windows NT® 4.0の**スタート**ボタンをクリックし、**ファイル名を指定して実行**を選択します。「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。



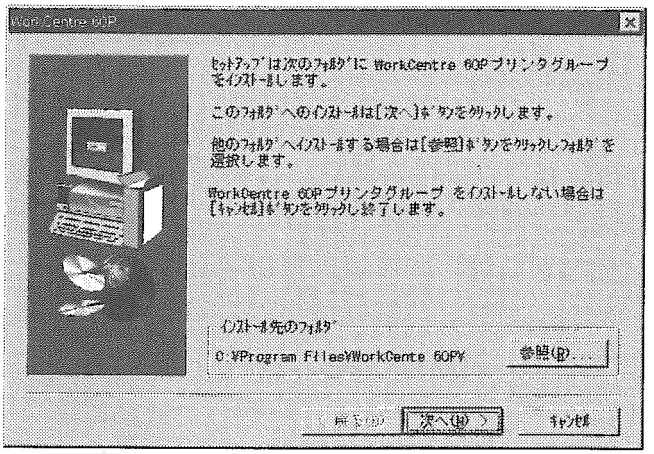
6 **名前にCD-ROMを挿入したドライブ名：¥ SETUP**（例えば、CD-ROMをDドライブに挿入した場合は、**D：¥SETUP**）と入力して、**OK**ボタンをクリックします。パソコンの機種（PC/AT互換機またはNEC PC-9821シリーズ）を選択するダイアログボックスが表示されます。



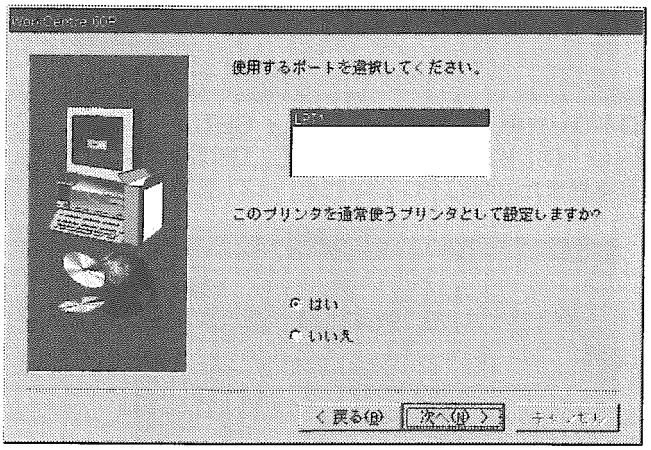
7 **使用機種：**に使用しているパソコンの機種が表示されていることを確認し、**OK**ボタンをクリックします。セットアッププログラムが起動します。



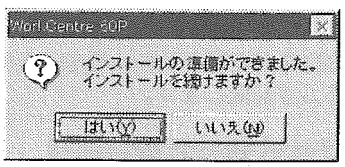
8 インストール先を指定するダイアログボックスが表示されます。



9 **インストール先のフォルダ**を変更する場合は、**参照**ボタンをクリックしてインストール先を指定します。
次へボタンをクリックします。
使用するポートを選択するダイアログボックスが表示されます。

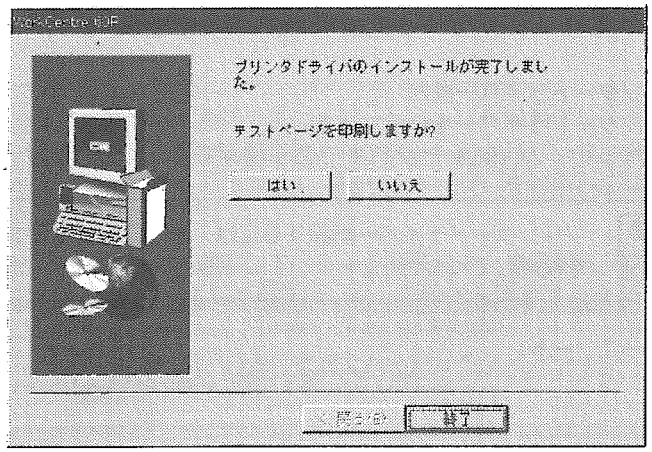


10 使用するポートに**LPT1**が選択されていることを確認します。
このプリンタを通常使うプリンタとして設定しますか? は、**はい**を選択します。
次へボタンをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。



11 **はい**ボタンをクリックします。
プリンタードライバーのコピーが始まります。

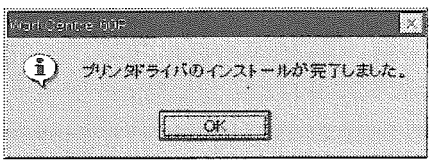
12 プリンタードライバーのコピーが終わると、次のダイアログボックスが表示されます。



13 **テストページを印刷しますか?**は、**はい**ボタンをクリックします。
WorkCentre 60Pで、テストページの印刷が始まります。
パソコンの画面では、ステータスモニターが印刷の状況を表示します。

> メモ　テストページの印刷が始まるまで、5~6分かかることがあります。

14 テストページの印刷が終了したら、**終了**ボタンをクリックします。次のダイアログボックスが表示されます。



> メモ　テストページが印刷できなかった場合は、**終了**ボタンをクリックして、インストールを終了します。「こんな表示が出たら」☞ 80ページを参照して、原因を取り除いてください。その後、WorkCentre 60Pのプロパティから印字テスト（**スタート**ボタン → **設定** → **プリンタ** → **WorkCentre 60P**のプリンターアイコンを右ボタンでクリック → **プロパティ** → **印字テスト**ボタン）を行い、WorkCentre 60Pとパソコンが正しく接続されていることを確認します。

15 **OK**ボタンをクリックします。
これで、プリンタードライバーのインストールは終了です。

WorkCentre 60Pプリンターグループについて

プリンタードライバーをインストールすると、「WorkCentre 60Pプリンターグループ」が表示されます。ここから、プリンタードライバーの削除やヘルプの表示を行います。

プリンタードライバー削除
プリンタードライバーを削除します。
削除すると、WorkCentre 60Pでの印刷ができなくなります。

> ご注意 プリンタードライバー削除するには、必ずこの**プリンタードライバー削除**を使用してください。

リリースノート
プリンタードライバーに関しての最新情報が書かれています。最初にお読みください。

ステータスモニター
WorkCentre 60Pの状態や実行中の印刷に関する最新情報が表示されます。表示の内容については、「ステータスモニターについて」☞81ページまたはステータスモニターヘルプを参照してください。

ステータスモニターヘルプ
ステータスモニターの設定や表示について説明しています。

印刷をはじめる

実際に印刷する方法について説明します。使用するアプリケーションのマニュアルとあわせてお読みください。

ご注意

- 印刷をするには、前もって使用するコンピューターに付属のプリンタードライバーをインストールしておく必要があります。インストールされていない場合は、「プリンタードライバーをインストールする」（☞ 32ページ）をお読みになりインストールしてください。
- 複数のプリンターと一緒に使用しているような環境で、使用するプリンターを変える場合は、コントロールパネルからプリンターの設定を変更する必要があります。また、本プリンターとWindows Printing SystemまたはＧＤＩを使用している他のプリンターは同じWindows内で共存できません。詳しくはオンラインヘルプの「複数のプリンターと一緒に使用するには」をお読みください。

印刷するときは

1 給紙トレイに印刷したいサイズの用紙をセットしていることを確認します。「給紙トレイと用紙をセットする」（☞ 17ページ）を参照してください。

2 本機の電源スイッチを入れます。スタートランプが点灯します。（☞ 20ページ）

3 アプリケーションから印刷部数や用紙の種類など、印刷に関する設定を行います。
印刷をするときに設定できる項目については、「プリンタードライバーで印刷方法を設定する」（☞ 54ページ）を参照してください。

ご注意 印刷する前に、プリンターの設定が「WorkCentre 60P」になっていることを確認してください。

4 アプリケーションから印刷を実行します。

メモ

- アプリケーションから印刷を実行しても、本機でコピーをとっているときはコピーが優先されます。コピー終了後、印刷が行われます。
- 本機が予熱モードにはいっているときに印刷をすると、本機側で操作をしなくても予熱モードは自動的に解除され、印刷が行われます。

プリンタードライバーで印刷方法を設定する

ここでは、プリンタードライバーの設定方法と設定できる項目を説明します。
プリンタードライバーを設定する前に、次のことを確認してください。

- 使用するコンピューターに本機のプリンタードライバーがインストールされている。インストールされていなければ、「プリンタードライバーをインストールする」（☞ 32ページ）を参照してください。
- 使用するコンピューターがWorkCentre 60Pを通常使うプリンターに設定している。

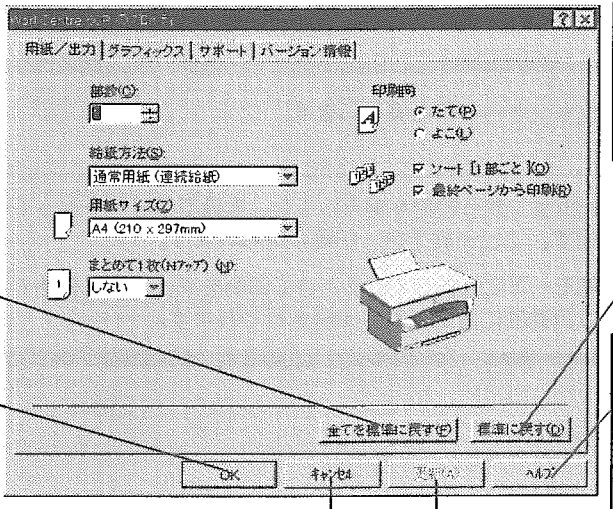
1 コンピューターの**スタート**ボタンをクリックし、設定から**プリンター**を選択します。

2 Windows 95またはWindows 98をお使いの場合は、「プリンター」フォルダの中のWorkCentre 60Pアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから**プロパティ**を選択します。
Windows NT 4.0をお使いの場合は、「プリンター」フォルダの中のWorkCentre 60Pアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから“ドキュメントの既定値”を選択します。

> メモ　マウスを右きき用で使用している場合を例にしています。

3 WorkCentre 60Pプリンタードライバーのプロパティが表示されます。Windows 95をお使いの場合は、**プリンタードライバー設定**のタブをクリックすると、以下の画面が表示されます。

*** 画面は Windows 95 です。**



すべてを標準に戻すボタン
すべてのタブで設定した内容を初期設定に戻します。

標準に戻すボタン
各タブで設定した内容を初期設定に戻します。

OKボタン
各タブで設定した内容を決定し、プロパティを終了します。

ヘルプボタン
プリンタードライバの設定項目や機能についての説明を表示します。

キャンセルボタン
各タブで設定した内容を無効にしてプロパティを終了します。

更新ボタン *(Windows98 では**適用**ボタン)
各タブで設定した内容を保存します。
Windows NT 4.0 では表示されません。

ドライバーで設定できる項目の一覧は次の通りです。

部数と印刷方法

部数	●印刷部数の設定をします。1～50枚迄できます。（初期設定：1）
給紙方法	給紙方法を設定します。通常用紙（連続給紙）と特殊用紙（1枚ずつ給紙）を選択できます。（初期設定：通常用紙（連続給紙））
用紙サイズ※	印刷する用紙サイズを選択します。 選択できる用紙は、A4、B5、A5、レター、リーガル、官製はがき、封筒（長形3号）です。（初期設定：A4） ※本機ではカスタムサイズ（任意のサイズ）は対応しておりません。
まとめて1枚（Nアップ）	1ページ内に複数ページを分割して印刷します。4ページと2ページに分割することができます。（初期設定：しない） ＊「2アップ」または「4アップ」を選択すると、最終ページから印刷を行うことはできません。
印刷向き	印刷の向きを設定します。たてとよこを選択できます。（初期設定：たて）
ソート［1部ご	部単位で印刷するか、ページ単位で印刷するかを設定します。（初期設定：1部ごと）
最終ページから印刷	先頭ページから印刷するか、最終ページから印刷するかを設定します。（初期設定：最終ページから印刷） ＊最終ページから印刷を行う場合はNアップ機能を使用することはできません。

グラフィックス

明度	明るくするときは0～49%までの値で、暗くするときは51～100%までの値で設定できます。（初期設定：50%）
コントラスト	コントラストを弱めるときは0～49%までの値で、コントラストを強めるときは51～100%までの値で設定できます。（初期設定：50%）
解像度	標準（300dpi）、高画質（600dpi）のどちらかを選択できます。（初期設定：高画質（600dpi））
印刷画質	印刷するドキュメントの種類を指定します。 「標準」、「写真」、「文章」、「トナー節約」、「ユーザー設定」から選択します。（初期設定：標準）
詳細設定	「ユーザー設定」でカラーやグレースケールの印刷をするときに使用します。 ・シャープネス シャープネスを弱めるときは0～9%までの値で、シャープネスを強めるときは11～100%までの値で設定できます。（初期設定：10%） ・中間調 「粗い」、「標準」、「細かい」の設定ができます。（初期設定：標準）

サポート

このドライバーでは認識できないアプリケーションで印刷するときに発生する問題をサポートするためのタブです。各項目の使用方法は、ヘルプを参照してください。

印刷指示を取り消す

ここでは、パソコンで印刷指示を取り消す手順について説明します。

1 **スタート**ボタンをクリックし、**設定**から**プリンタ**を選択します。
「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 **WorkCentre 60P**をダブルクリックします。「WorkCentre 60P」ウィンドウが表示されます。

3 印刷を中止するドキュメント名を選択します。

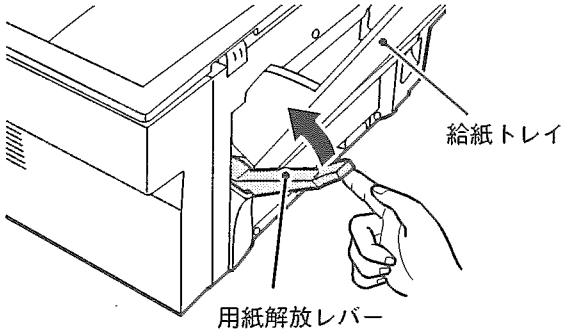
4 キーボードの「Delete」キーを押します。印刷指示が取り消されます。

はがきに印刷する

ここでは、官製はがきに印刷する手順について説明します。
官製はがき、OHPフィルム、封筒、ラベル用紙などに印刷する場合は、給紙トレイに用紙をセットし、プリンタードライバーで給紙方法や用紙サイズを設定します。

メモ　官製はがきに印刷するときは、テスト印刷することをお勧めします。

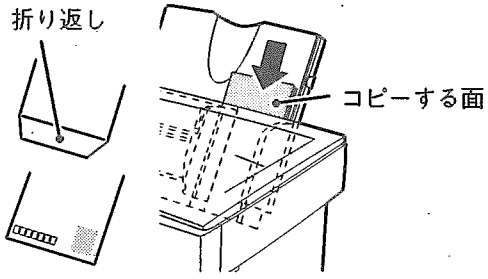
1　給紙トレイの右側にある用紙解放レバーを手前に引きます。



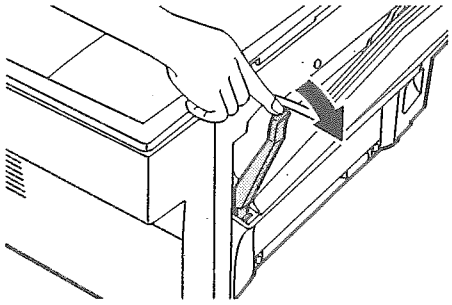
2　コピーする面が手前になるようにして、用紙の右端を給紙トレイの右側に合わせ、1枚ずつセットします。次に左端のガイドをつまんで用紙の左端に合わせます。

ご注意
- 給紙トレイに用紙をセットするときは、必ず縦長方向にセットしてください。
- はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートをコピーする場合は、1枚ずつ給紙してください。
- 用紙の左端とガイドの間にすき間が空きすぎたり、ガイドを強く押しすぎて用紙が曲がることのないようにしてください。ゆがんでコピーされたり紙づまりの原因となります。
- はがきを両面コピーする場合：
  - 宛名のコピーは後にしてください。
  - 給紙トレイにセットしたときの下の部分が先端から10mmの範囲はコピーできません。
  - 片面をコピーした後、紙が反ったときは、平らに伸ばしてから反対側の面をコピーしてください。
- はがきを給紙トレイにセットするときは、必ず縦長方向（148mm）にセットしてください。

メモ
- コンピューターから印刷する場合、アプリケーションで指定した用紙サイズが、本機にセットされている用紙サイズより大きい場合（例えば、アプリケーションではA4に設定しているが、本機の給紙トレイにはA5の用紙をセットしている場合）は、1枚の用紙には収まらないため、印刷が2枚にわたってしまったり、印字されない部分が発生する場合があります。
- アプリケーションの設定よりも小さいサイズの用紙に印刷すると、用紙からはみ出た部分のイメージがドラムカートリッジの表面に残り、そのあと大きな用紙に印刷すると残った部分のイメージが印刷されたり、裏面が汚れることがあります。ドラムカートリッジの表面に残ったイメージは2～3ページ印刷すると消えます。

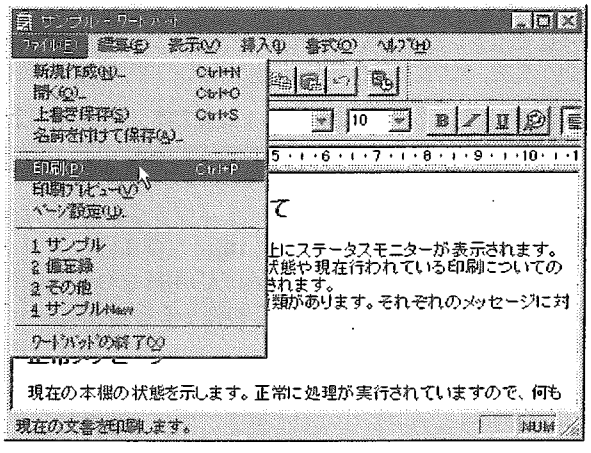


3 用紙解放レバーを押し戻します。押し戻すと本機の内部で用紙がセットされます。



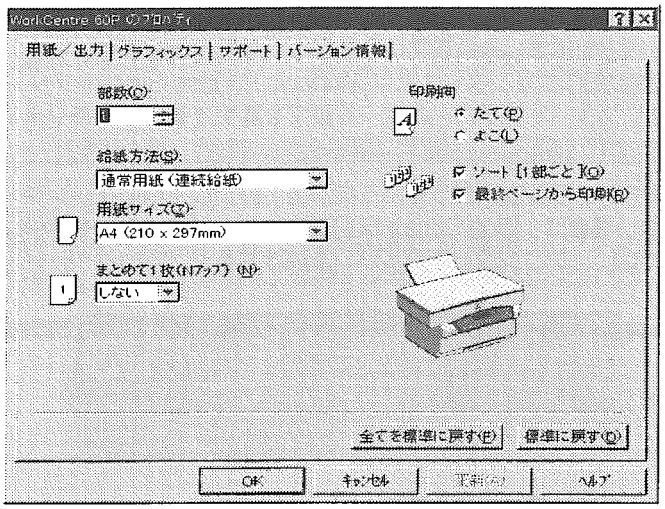
ご注意 給紙トレイに特殊紙や数枚の用紙をセットする場合、または両面コピーをする場合は、用紙開放レバーを押し戻しても、用紙が本機の内部でセットされないことがあります。そのようなときは、用紙解放レバーを数回動かしてみて、用紙が確実にセットされていることを確認してください。

4 次に、パソコンから印刷指示の操作をします。アプリケーション（ここでは、Windows® 95でワードパッドを使用している場合を例に説明）で**ファイル**メニューの**印刷**をクリックします。



5 「印刷」ダイアログボックスが表示されます。**プリンタ名**がWorkCentre 60Pになっていることを確認します。それ以外の場合は、**プリンタ名**の ▼ をクリックしてWorkCentre 60Pを指定します。

6 [印刷]ダイアログボックスの**プロパティ**をクリックします。「WorkCentre 60Pプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。



7 **給紙方式**で**特殊用紙（1枚ずつ給紙）**を、**用紙サイズ**で**はがき**を、**印刷向き**で**たて**を選択します。**部数**、**ソート[1部ごと]**の値は必要に応じて設定します。
OKボタンをクリックして、「WorkCentre 60Pのプロパティ」ダイアログボックスを閉じます。

8 [印刷]ダイアログボックスの**OK**をクリックします。
印刷が開始されます。

複数のプリンターと一緒に使用するには

本機を使用していて、他のGDIプリンターまたはWindows Printing System プリンターを使用しようとすると、プリンター同士で干渉し合い正常に作動しない場合があります。
このため、本機以外の他のGDIプリンターまたはWindows Printing System プリンターを使用したい場合は、次の手順でプリンタードライバーのポート設定を変更する必要があります。

> メモ
> WorkCentre 60Pプリンタードライバーを FILEに設定し、他のプリンターを使用して正常に動作しない場合は、WorkCentre 60Pプリンタードライバーを削除してください。削除のしかたは、「プリンタードライバーを削除する」（☞ 61ページ）を参照してください。

1 **スタート**ボタンをクリックします。

2 **設定**を選択し、**プリンター**をクリックします。

3 プリンターダイアログボックスから、**WorkCentre 60Pプリンター**のアイコンをマウス右ボタンでクリックし、プロパティをクリックします。

4 プロパティダイアログボックスの**詳細**タブをクリックし、印刷先のポートリストボックスから**FILE：**を選択して**OK**ボタンをクリックします。

5 使用するプリンターのアイコンをマウス右ボタンでクリックし、**プロパティ**をクリックします。

> メモ
> マウスを右きき用で使用している場合を例にしています。

6 プロパティウインドウの中の**詳細**タブをクリックし、LPT1（または現在使用しているポート）を選択して**OK**ボタンをクリックします。

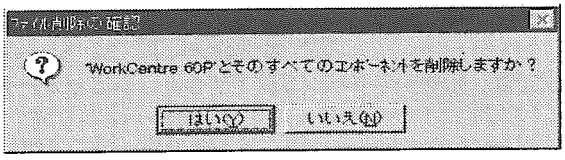
> メモ
> 再びWorkCentre 60Pを使用する場合は、使用中のポート（例えば、LPT1）にプリンタードライバーを再度接続するために、上記の手順を行ってください。

プリンタードライバーを削除する

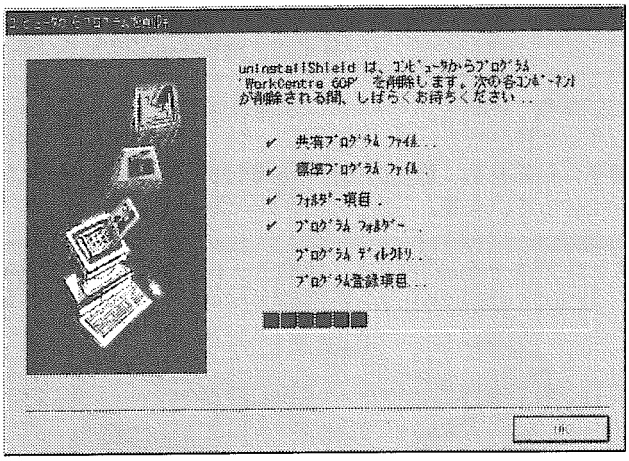
プリンタードライバーが正しくインストールできなかった場合や、WorkCentre 60Pを使用しなくなった場合は、次の手順でプリンタードライバーをパソコンから削除します。

1 パソコンの電源を入れ、Windows®を起動します。ここでは、Windows® 95を例に説明します。

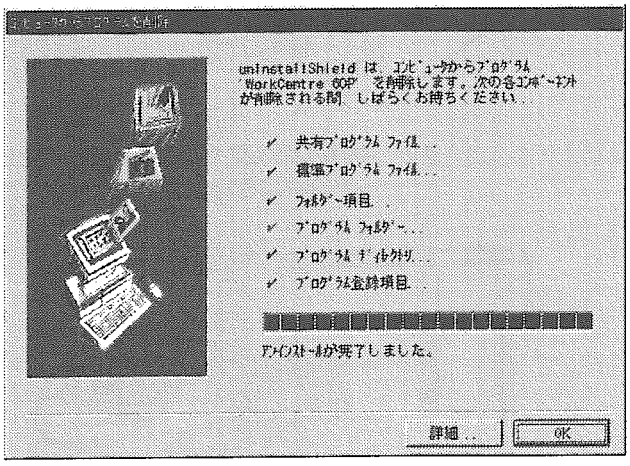
2 **スタート**ボタン → **プログラム** → **WorkCentre 60P** → **プリンタドライバ削除**の順にクリックします。「ファイル削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。



3 **はい**ボタンをクリックします。プリンタードライバーを削除するプログラムが起動します。



4 プリンタードライバーの削除が終了すると、**アンインストールが完了しました。**と表示されます。



5 OKボタンをクリックします。これで、プリンタードライバーがパソコンから削除されました。

印刷中にコピーする

WorkCentre 60Pで、印刷中にコピーする場合の操作について説明します。

1 WorkCentre 60Pで印刷中に、コピーの準備をします。

2 操作パネルの[スタート]キーを押します。

WorkCentre 60Pでは、印刷中のページが終了すると、コピーモードになり印刷が中断されます。

3 WorkCentre 60Pで、コピーが開始されます。

4 コピーが終了したあとも、追加のコピーを受け付けられるように、WorkCentre 60Pはコピーモードになっています。

[クリア/ストップ]キーを2回押すと、印刷モードになり、印刷が再開します。

7 消耗品の交換と日常のお手入れ

消耗品のトナーカートリッジ、ドラムカートリッジの交換方法や、日常のお手入れ方法について説明しています。

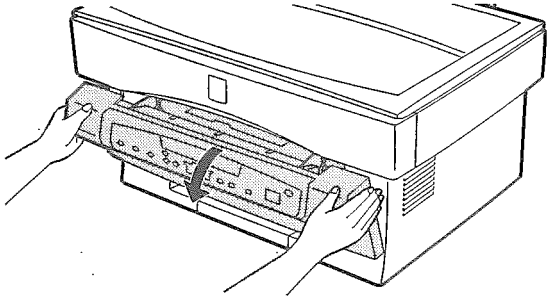
ご注意 作業の前に、本機の電源スイッチが「切」（○）側になっていることを確認します。

トナーカートリッジを交換する

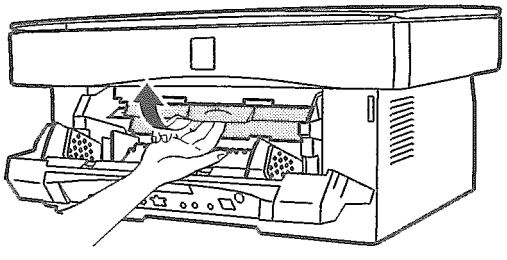
トナーカートリッジ交換ランプ「⁂」が**点灯**すると、交換時期が近づいています。このランプが点灯したら、残り200～300枚のコピーが可能です。新しいトナーカートリッジを準備してください。
トナーカートリッジの購入方法については、「別売品・消耗品の種類と保管方法」（☞ 83ページ）を参照してください。
トナーカートリッジ交換ランプ「⁂」が**点滅**すると交換時期です。
次の手順で新しいトナーカートリッジに交換してください。

メモ 新しいトナーカートリッジと交換する前に、トナーカートリッジを取り出しカートリッジ内のトナーが均一になるように、ゆっくり左右に振ってから再セットしてみてください。ランプが消えて何枚かコピーできることもあります。できないときはすみやかに新しいトナーカートリッジと交換してください。

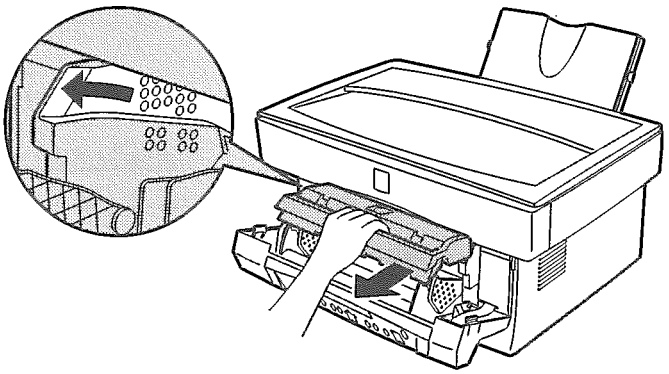
1 両端を軽く押さえながら、フロントカバーを開きます。



2 トナーカートリッジの取っ手の中央部分の下の溝に指を入れ、カートリッジの取っ手だけが出ている状態になるように静かに引き出します。



3 トナーカートリッジの取っ手をしっかりとつかんでカートリッジを支え、手前に引いて本機から完全に引き出します。

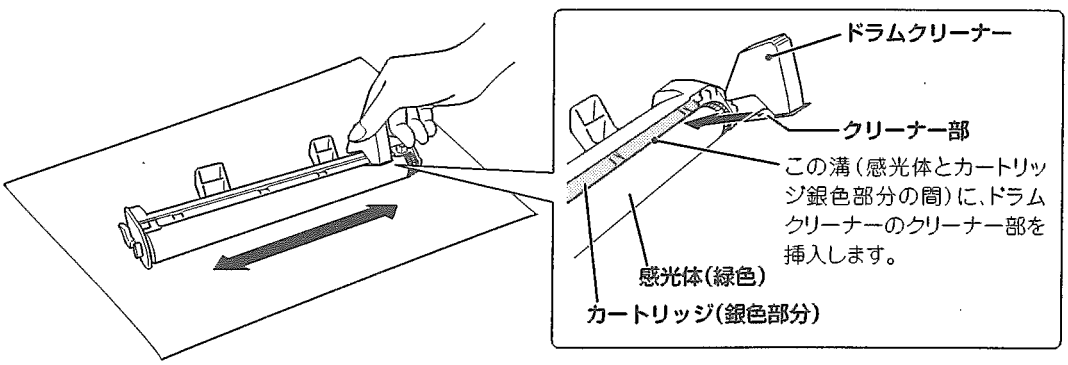


4 コピーが2重に写ったり（前にコピーしたイメージが次のコピーに重なる）、コピー汚れが発生している場合は、ドラムカートリッジを清掃する必要があります。ドラムカートリッジを本機から取り出してください。取り出しかたについては、「ドラムカートリッジを交換する」（☞ 65ページ）を参照してください。このとき、取り出したドラムカートリッジを置くための紙（汚れてもよい紙）を準備し、平らな場所に置きます。
コピーの品質に問題がない場合は、清掃をせずに手順6へ進んでください（ドラムクリーナーは保管してください）。

ご注意 ドラムカートリッジを取り出すときは、定着部には触れないでください。やけどやけがの原因となることがあります。

5 新しいトナーカートリッジに同梱されているドラムクリーナーを取り出します。
図のように、ドラムカートリッジの刻印が無いほうを上に向け、準備した紙の上に置きます。ドラムとカートリッジの間の溝にドラムクリーナーのクリーナー部を挿入して矢印の方向に2～3回静かに往復させて清掃します。

ご注意
- ドラムカートリッジの表面（緑色の部分）には手を触れないでください。カートリッジの表面がダメージを受け、コピー汚れの原因となります。
- ドラムカートリッジは安定したきれいな場所に置いてください。不安定で整とんされていない場所に置くと、カートリッジの表面（緑色の部分）がダメージを受け、コピー汚れの原因となります。



6 ドラムカートリッジを挿入してから、トナーカートリッジを取り付けます。取り付けかたについては、「ドラムカートリッジを交換する」（☞ 65ページ）と「トナーカートリッジを取り付ける」（☞ 15ページ）を参照してください。

7 フロントカバーを閉じます。電源スイッチを「入」（｜）側にします。トナーカートリッジ交換ランプ「⁂」が消え、コピーできる状態になります。

ご注意 取り出したトナーカートリッジは、絶対に火中に投じないで下さい。新しいトナーカートリッジに同梱されている返却用シール（着払い）を貼って弊社にご返送ください。

ドラムカートリッジを交換する

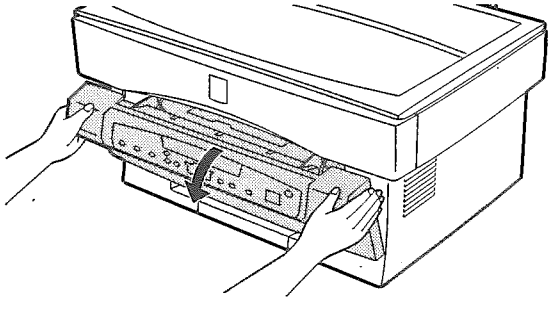
ドラムカートリッジ交換ランプ「⊙」が**点灯**すると、交換時期が近づいています。新しいドラムカートリッジを準備してください。「⊙」のランプは、約17,000枚コピーすると点灯します。
ドラムカートリッジの購入方法については、「別売品・消耗品の種類と保管方法」（☞ 83ページ）を参照してください。
ドラムカートリッジ交換ランプ「⊙」が**点滅**し、**スタートランプが消灯するとコピーできなくなります。**
次の手順で新しいドラムカートリッジに交換してください。「⊙」のランプは、点灯してから約1,000枚で点滅します。

ご注意 新しいドラムカートリッジは、取り付けるまで箱から出さないでください。また、ドラムカートリッジを光から保護するためにも、箱から出した後はすみやかに交換し、フロントカバーを閉じてください。

1 交換作業の前に、取り出したトナーカートリッジとドラムカートリッジを置くための紙を準備し、平らな場所に置きます。

ご注意 トナーカートリッジからトナーがこぼれ落ちる場合がありますので、汚れてもよい紙を準備してください。

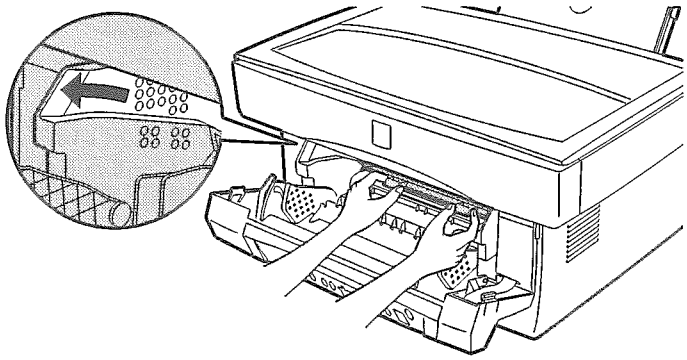
2 両端を軽く押さえながら、フロントカバーを開きます。



3 トナーカートリッジを本機から静かに取り出し、手順1で準備した紙の上に置きます。取り出し方については、「トナーカートリッジを交換する」（☞ 63ページ）を参照してください。

4 ドラムカートリッジの2つのつまみを指でつかみ、ドラムカートリッジをゆっくりと本機内部から取り出します。

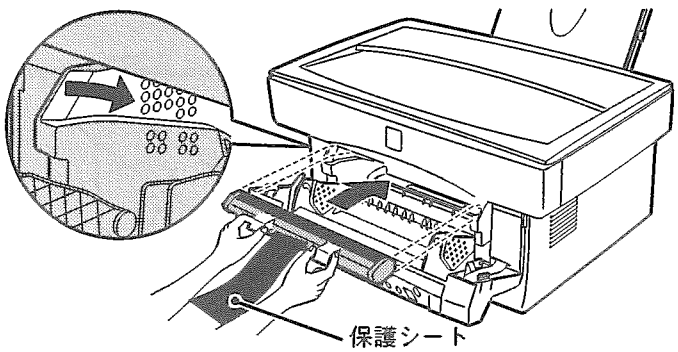
ご注意
- 定着部は高温になっています。ドラムカートリッジを交換するときは、定着部に触れないでください。やけどやけがの原因となることがあります。
- 取り出したドラムカートリッジは、絶対に火中に投じないで下さい。新しいドラムカートリッジに同梱されている返却用シール（着払い）を貼って弊社にご返送ください。



5 袋から新しいドラムカートリッジを取り出します。

ご注意
- 新しいドラムカートリッジには、光からさけるために黒色の保護シートが付いています。このシートを付けたまま本機に取り付けてください。取り付ける前にはずすと、カートリッジの表面（緑色の部分）をいためることがあります。
- ドラムカートリッジは安定したきれいな場所に置いてください。不安定で整とんされていない場所に置くと、カートリッジの表面（緑色の部分）がダメージを受け、コピー汚れの原因となります。

6 カートリッジの2つのつまみを指でつかみ、カートリッジの両端の突起部分をガイドに沿って矢印の方向にゆっくりと挿入します。

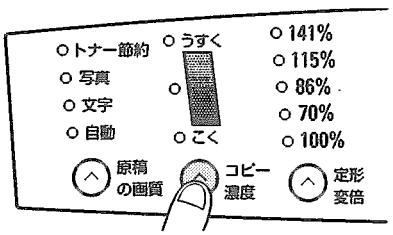


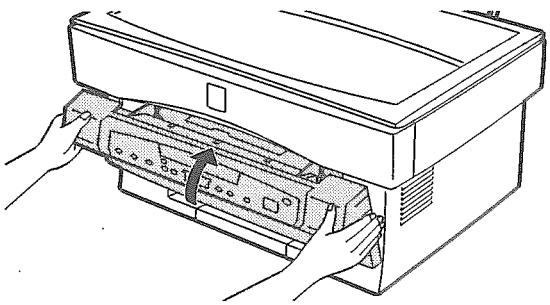
7 ドラムカートリッジから、黒色の保護シートを取りはずします。

ご注意 強く引っ張ると、保護シートが途中でやぶれることがあります。やぶれないように注意して、静かにゆっくりと取りはずしてください。

8 トナーカートリッジを取り付けます。取り付けかたについては、「トナーカートリッジを取り付ける」（☞ 15ページ）を参照してください。

9 電源スイッチを「入」（I）側にします。濃度調整キーを押しながらフロントカバーを閉じて、濃度調節キーをそのまま3秒間押し続けてください。3つの濃度調整表示ランプが点灯し、コピーできる状態になります。





ご注意 ドラムカートリッジやトナーカートリッジを取り付けないで、電源スイッチを入れると、エラーコードが表示されます。（☞ 80ページを参照してください。）

日常のお手入れ

コピーガラスや原稿カバー、ドラムカートリッジなどの清掃方法について説明しています。

ご注意

- アンモニア系のスプレーや有機洗剤、シンナー、ベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。本機の変形、変色、変質や故障の原因となります。
- 清掃の前に、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

本機の外側（キャビネット）を清掃する

柔らかい、きれいな、糸くずの出ない布でからぶきしてください。

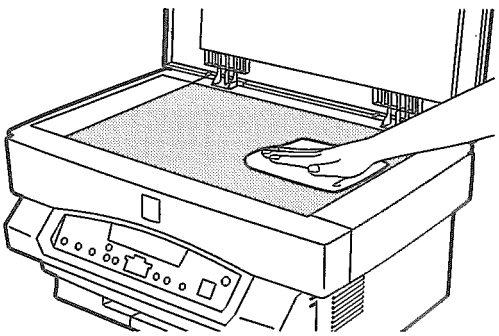
コピーガラス・原稿カバーを清掃する

コピーガラスの面や原稿カバーが汚れると、コピーに汚れが写ることがあります。定期的に次のようなお手入れを行ってください。

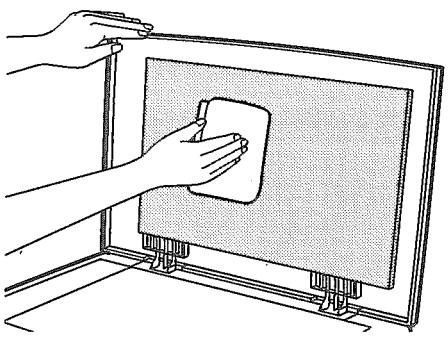
お手入れ方法

きれいな柔らかい布でふいてください。
汚れが落ちにくいときは、水または中性洗剤を少し含ませた布で拭いたあと、きれいな布でからぶきしてください。

コピーガラスの清掃



原稿カバーの清掃



ドラムカートリッジのクリーニング

コピーに文字抜けなどが起こった場合

次の手順でドラムカートリッジの表面（緑色の部分）をクリーニングしてください。

1 トナーカートリッジを本機から取り出します。取り出しかたについては、「トナーカートリッジを交換する」（☞ 63ページ）を参照してください。

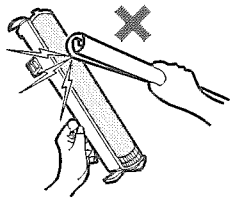
2 ドラムカートリッジを本機から取り出します。取り出しかたについては、「ドラムカートリッジを交換する」（☞ 65ページ）を参照してください。

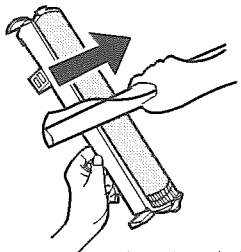
3 ドラムカートリッジの表面（緑色の部分）をクリーニングするのに使う紙を用意します。紙は筒状に丸めておきます。

ご注意 紙は、コピーするときに使うものと同じきれいな普通紙を使用してください。特殊紙や指定以外の紙を使用すると、カートリッジの表面（緑色の部分）がダメージを受け、コピー汚れの原因となります。

4 ドラムカートリッジの表面（緑色の部分）に、用意した筒状の紙を静かにあて、矢印の向きにゆっくりと引き、表面についているトナーを取り除きます。

ご注意
- 筒状の紙の先端がドラムの表面（緑色の部分へ当たらないようにクリーニングしてください。紙の先端が感光体に触れると（右図）、感光体の表面にダメージを与えます。
- ドラムカートリッジの表面（緑色の部分）には手を触れないでください。カートリッジの表面がダメージを受け、コピー汚れの原因となります。





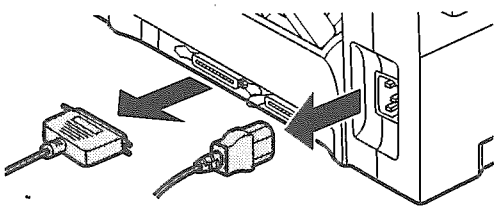
5 ドラムカートリッジを挿入してから、トナーカートリッジを挿入します。カートリッジの挿入については、「ドラムカートリッジを交換する」（☞ 65ページ）と「トナーカートリッジを取り付ける」（☞ 15ページ）を参照してください。

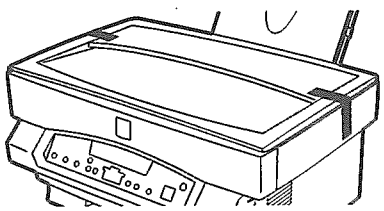
6 フロントカバーを閉じます。

長期間使用しないときには

ほこりや異物が入らないために、次の手順で収納してください。

1 電源コードとインターフェースケーブルを取りはずし、テープ（2カ所）で固定します。





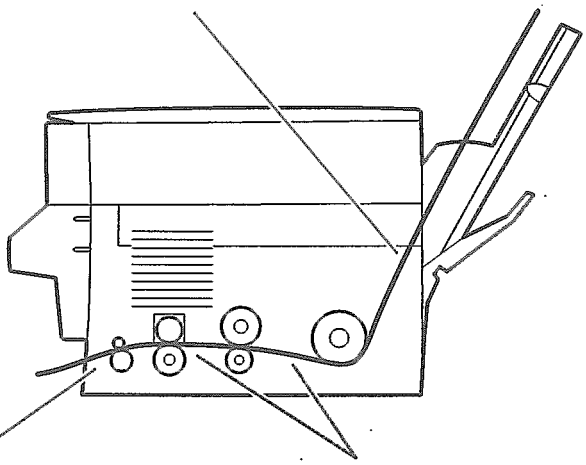
ご注意 本機を長期間使用しない場合は、用紙を給紙トレイから取り出し、湿気のない場所に保管してください。長期間用紙を給紙トレイに入れたままにしておくと、空気中の水分を吸収し、紙づまりの原因となります。

8 こんなときは

紙づまりなど、使用中にトラブルが発生したときの対処方法や、総コピー枚数の確認方法について説明しています。

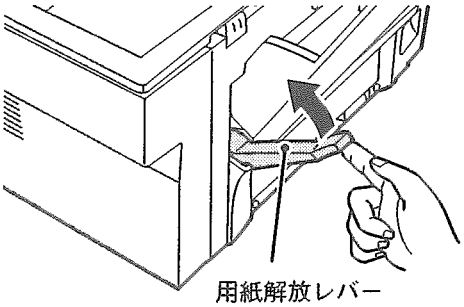
紙づまりの処置のしかた

紙づまりが発生すると、紙づまりランプ「⚠」が点滅するか、ディスプレイに「E1～E3」が表示され点滅します。まず、どこでつまっているかを確認し、紙を取り除いてください。



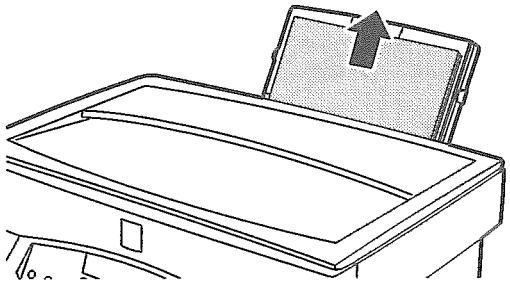
E1 給紙トレイにつまっている場合

1 給紙トレイの右側にある用紙解放レバーを手前に引きます。



2 給紙トレイから、つまっている用紙と一緒にトレイに入っているすべての用紙を取り出します。このとき紙が取れない場合は、「E2 本機内部につまっている場合」へ進んでください。

ご注意 つまった用紙は、無理に取り除かないでください。本機内部に破れた紙が残り、コピー汚れの原因となります。



3 用紙の端をそろえて、再び給紙トレイにセットします。

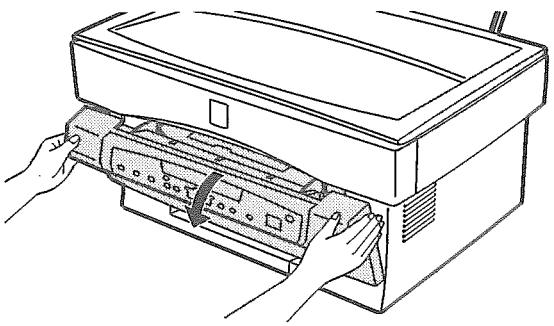
4 用紙解放レバーを押し戻し、用紙を本機内部に確実にセットします。

E2 本機内部につまっている場合

1 交換作業の前に、取り出したトナーカートリッジを置くための紙を準備し、平らな場所に置きます。

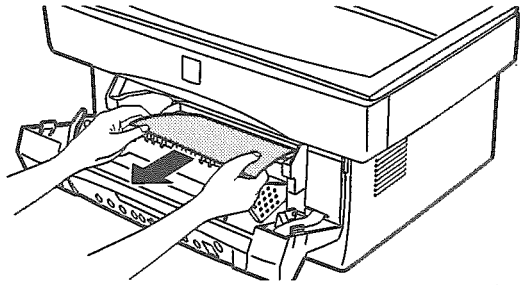
ご注意
- トナーカートリッジからトナーがこぼれ落ちる場合がありますので、汚れてもよい紙を準備してください。

2 両端を軽く押さえながら、フロントカバーを開きます。



3 トナーカートリッジを静かに取り出し、手順1で準備した紙の上に置きます。取り出しかたについては、「トナーカートリッジを交換する」（☞ 63ページ）を参照してください。

4 つまっている用紙の両端を持ち、ゆっくりと引き出します。



5 フロントカバーを閉じます。

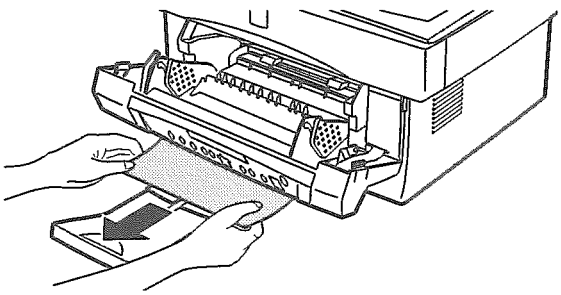
> ご注意 小さい用紙または紙片が、本体内部に残り、取り除けない場合は、ドラムカートリッジを取り出して、つまっている用紙を取り除いてください。ドラムカートリッジの取り出しかたについては「ドラムカートリッジを交換する」（☞ 65ページ）を参照してください。

E3 排紙口につまっている場合

1 両端を軽く押さえながら、フロントカバーを開きます。

2 排紙口からつまっている用紙の両端を持ち、ゆっくりと引き出します。

> ご注意 フロントカバーを閉じたまま、つまった用紙を無理に取り除かないでください。本機内部に破れた紙が残り、コピー汚れの原因となります。必ず、フロントカバーを開いた状態で取り除いてください。



3 フロントカバーを閉じます。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼する前にもう一度お調べください。それでも具合が悪いときは、「アフターサービスについて」（☞ 89ページ）をご覧のうえ修理を依頼してください。

こんなとき	原因	処置方法	参照ページ
本機が動かない	電源コードが接続されていない	電源コードを本機の電源コネクターとコンセントに確実に差し込んでください。	19
	“電源スイッチ”が入っていない	“電源スイッチ”を（｜）にしてください。	20
	フロントカバーがきちんと閉じられていない	フロントカバーを静かに閉じてください。	–
紙づまりが発生する	用紙が正しくセットされていない	給紙トレイに用紙を正しくセットしてください。「給紙トレイと用紙をセットする」を参照してください。	17
	給紙トレイに用紙を入れすぎている	給紙トレイから、何枚か用紙を取り出してください。	17
		封筒；はがき、OHPシート、ラベル紙でコピーしている場合は、1枚ずつ挿入してください。	17
	用紙が規格に合っていない	用紙が規格に合っていることを確認してください。「使用できる用紙の種類とサイズ」を参照してください。	22
	用紙がカールしたり湿っている	カールしたり、折れ曲がっている用紙は使用しないでください。長期間使用しない場合は、トレイから用紙を取り出し、吸湿しないように袋に入れて冷暗所に保管してく	22
	本機内部に紙片が残っている	フロントカバーを開き、紙片を取り除いてください。	70、80
	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しく取り付けられていない	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。	15、63

コピーに関するトラブル

こんなとき	原因	処置方法	参照ページ
画像が出ない	原稿がセットされていない	原稿をセットしてください。	24
「スタートランプ」が点滅している	予熱モードに入っている	操作パネルのいずれかのキーを押して、解除してください。	31
	オートパワーシャットオフモードに入っている	“スタートキー”を押して、解除してください。	31
画像が薄いまたは濃い	原稿の画像が薄い、または濃い	コピー濃度を調整してください。	26
	写真コピー状態になっている	写真コピー状態を解除してください。	26
	トナー節約モードになっている	トナー節約モードを解除してください。	10
コピーに汚れが写る	コピーガラスの面・原稿カバーが汚れている	コピーガラスの面および原稿カバーを清掃してください。	68
	原稿が汚れている	きれいな原稿をご使用ください。	—
こすると画像部分が消えたり、コピーにしわがよる	規定範囲外のサイズおよび重さの用紙を使用している	規定範囲内の用紙をご使用ください。	24
	用紙が湿気を帯びている	用紙を取り換えてください。 長期間使用しない場合は、トレイから用紙を取り出し、吸湿しないように袋に入れて冷暗所に保管してください。	83

印刷に関するトラブル

こんなとき	原因	処置方法	参照ページ
プリンタードライバーがインストールできない	コンピューターのハードディスクにプリンタードライバーをインストールするための空き容量が足りない	不要なファイルやアプリケーションソフトを削除し、ハードディスクの空き容量を増やしてください。（最低でも10Mバイトの空き容量が必要です。）	32
	使用しているオペレーティングシステムが適切でない	Windows 98, Windows 95またはWindows NT4.0のオペレーティングシステムを使用してください。	32
用紙が送られない	用紙が正しくセットされていない	給紙トレイに用紙を正しくセットしてください。	17
	給紙トレイに用紙を入れすぎている	給紙トレイから、何枚か用紙を取り出してください。 封筒、はがき、OHPシート、ラベル紙で印刷している場合は、1枚ずつ挿入してください。	17

こんなとき	原因	処置方法	参照ページ
印刷しない	インターフェースケーブルが正しく接続されていない	インターフェースケーブルをプリンターとコンピューターのコネクターに、確実に接続してください。	19
	インターフェースケーブルの不良	同じケーブルを、他のコンピューターとプリンターに接続し、印刷できることを確かめてください。	—
		別のケーブルを接続し、印刷できることを確かめてください。	—
	Windowsでのプリンター設定が間違っている	Windowsのコントロールパネルで、プリンターアイコンを選択し、プリンターの設定が、使用するポート(例：LPT1)に接続されていることを確かめてください。	—
	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しく取り付けられていない	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。	15、63
	使用しているアプリケーションのプリンターの設定を間違っている	ご使用のアプリケーションソフトで、プリンターが設定されていることを確認してください。	—
	プリンタードライバーが正しくインストールされていない	プリンタードライバーをインストールし直してください。「プリンタードライバーをインストールする」を参照してください。	32
文字(またはグラフィック)が画面と異なって印刷される(文字化け現象)	インターフェースケーブルが正しく接続されていない	インターフェースケーブルをプリンターとコンピューターのコネクターに、確実に接続してください。	19
	インターフェースケーブルの規格が合っていない	ケーブルが規格に合っていることを確認してください。「パラレルインターフェースの仕様」を参照してください。	86
印刷が遅い	同時に複数のアプリケーションソフトを使用している	使用していないアプリケーションソフトを全て終了してから印刷してください。	—
	コンピューターのRAMディスクを使用している	RAMディスクのサイズを減らすか、使用しないでください	—
	解像度を600dpiに設定している	300dpiに設定してください。	55
	コンピューターのメモリー(RAM)容量が足りない	コンピューターにメモリー(RAM)を追加してください。	—

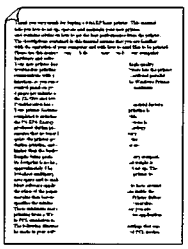
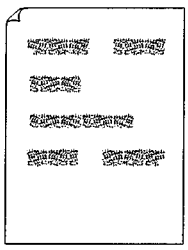
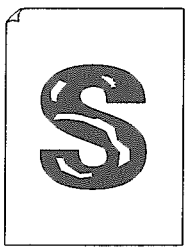
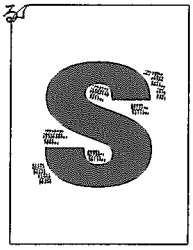
コピー品質をよりよく保つために

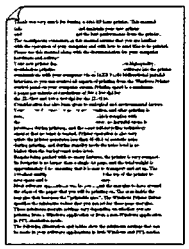
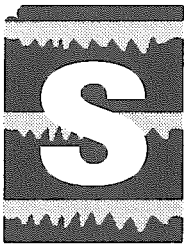
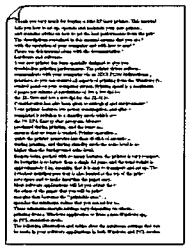
項目	注意事項	対処方法
はがき※1のプリントについて	高温高湿の環境ではがきをプリントするとトナーが全体に薄く付着することがあります。	品質を特に重視する場合は、空調を効かせた常温常湿※2の環境でお使いください。
	プリント後のはがきを重ねてこするとトナーが付着することがあります。	表面をこすらないでください。
OHPフィルムのプリントについて	低温低湿の環境で黒べた部があるイメージをOHPフィルムにプリントすると黒べた部に印字ムラが発生することがあります。	品質を特に重視する場合は、空調を効かせた常温常湿※2の環境でお使いください。
	罫線などのあるイメージをOHPフィルムにプリントすると罫線の印字が薄くなることがあります。	品質を特に重視する場合は、罫線のあるイメージをOHPフィルムに印字するのは避けてください。
ラベル紙のプリントについて	低温低湿の環境で黒べた部があるイメージをラベル紙にプリントすると黒べた部に印字ムラが発生することがあります。また高温高湿の環境で用紙後端部の印字が薄くなることがあります。	品質を特に重視する場合は、空調を効かせた常温常湿※2の環境でお使いください。
封筒のプリントについて	低温低湿の環境でプリントすると薄く残像がプリントされることがあります。	品質を特に重視する場合は、空調を効かせた常温常湿※2の環境でお使いください。
	プリント後の封筒を重ねてこするとトナーが付着することがあります。	表面をこすらないでください。
	高温高湿の環境で封筒をプリントするとトナーが全体に薄く付着することがあります。	品質を特に重視する場合は、空調を効かせた常温常湿※2の環境でお使いください。
プリント1枚目の裏面トナー付着について	プリント終了後1～2時間以上待機した後にプリントを再開した場合、最初の1枚の裏面にトナーが薄く付着することがあります。	裏面のわずかな汚れが気になる場合は最初に1枚ためしプリント（使用済の普通紙などで）を行ってください。

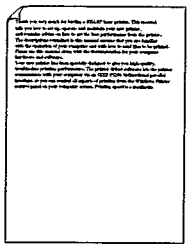
※1 はがき：官製はがきです。　※2 常温常湿：20℃、65%前後を目安とします。

コピーまたは印刷の品質に関するトラブル

コピーまたは印刷にかすれや、汚れなどの品質問題が発生した場合は、次の表で示す結果の例を参照し、処置方法に従ってください。それでも具合が悪い場合は、カストマーサポートセンターにお問い合わせください。

こんなとき	原因	処置方法	参照ページ
コピーがかすむ 	用紙が規格に合っていない	用紙が規格に合っていることを確認してください。	22
	トナーカートリッジ内のトナーが均一に分散されていない	トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり左右に振ってカートリッジ内のトナーを均一に分散してください。	15
白紙でコピーされる	トナーカートリッジが正しく取り付けられていない	トナーカートリッジが正しく取り付けてあることを確認してください。	15
	トナーカートリッジ内のトナーが無くなっている	トナーカートリッジを新しいものと交換してください。「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。	63
しみができる 	用紙が規格に合っていない	用紙が規格に合っていることを確認してください。	22
	他の機械で使用していたトナーカートリッジを使用した	別の機械で使用していたトナーカートリッジを使用することは避けてください。コピー汚れの原因となります。	—
文字の中が抜ける 	用紙が乾燥している	新しく開封した用紙を使用してください。	—
文字のまわりが汚れる 	用紙が湿っている	新しく開封した用紙を使用してください。	—
	凹凸のある(不均一な)面にコピーした	封筒で発生する場合は、コピーする部分を裏面の合わせ目からずらしてください。	—
	高温、高湿の環境で使用している	使用する環境を替えてください。 適切な環境で使用してください。	6

こんなとき	原因	処置方法	参照ページ
文字抜け 	用紙が湿っている	新しく開封した用紙を使用してください。	—
	ドラムカートリッジが汚れている	ドラムカートリッジを清掃してください。「ドラムカートリッジのクリーニング」を参照してください。	68
2重にコピーされる（前にコピーしたイメージが、次のコピーの上に重なる）	はがき、封筒などの厚めの用紙を使用している	給紙トレイに、1枚ずつ挿入してコピーしてください。	17
	用紙が乾燥している	新しく開封した用紙を使用してください。	—
	ドラムカートリッジが汚れている	ドラムカートリッジをクリーニングしてください。	68
はがきを両面コピーしたとき、先端部分が汚れる	両面コピーをするときに、連続給紙をした	はがきを両面コピーする場合は、給紙トレイに1枚ずつ挿入してください。	17
コピー面の裏が汚れている	定着ローラーが汚れている	白紙のページを数枚コピーして定着ローラーをきれいにしてください。	—
グラフィックスがかすれる 	トナーが均一に分散されていない	トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり左右に振ってトナーを均一に分散してください。	15
	トナーの量が少なくなっている	トナーカートリッジの交換時期が近いかもしれません。新しいトナーカートリッジを準備してください。	—
用紙端部が白く抜ける 	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しく取り付けられていない	トナーカートリッジまたはドラムカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。	15、63

こんなとき	原因	処置方法	参照ページ
用紙の半分が白紙で印刷される 	ページのレイアウトが複雑すぎる	ページのレイアウトを単純にしてください。	—
	解像度を600dpiに設定している	300dpiに設定してください。	55
	印刷方向の設定が間違っている	ドライバーで印刷方向を変更してください。	55
	同時に複数のアプリケーションソフトを使用している	使用していないアプリケーションソフトをすべて終了してから印刷してください。	—
	ご使用のアプリケーションソフトまたはプリンタードライバーで指定したサイズよりも、大きいサイズの用紙を本機にセットしている	本機に正しいサイズの用紙をセットしてください。	—
	インターフェースケーブルの規格が合っていない	ケーブルが規格に合っていることを確認してください。「パラレルインターフェースの仕様」を参照してください。	86
	適切なCPUを使用していない	ご使用のコンピューターのCPUが、486DX 66MHz以上であることを確認してください。	32
	コンピューターのメモリー(RAM)容量が足りない	コンピューターにメモリー(RAM)を追加してください。	—
低解像度印刷機能*が働いている	同時に複数のアプリケーションソフトを使用している	使用していないアプリケーションソフトを全て終了してから印刷してください。	—
	解像度を600dpiに設定している	300dpiに設定してください。	55

***低解像度印刷とは?**

複雑なグラフィックスや多くのフォントを使用したページを印刷する場合、コンピューターのリソースが十分に足りないことがあります。このような場合、プリンタードライバーでは、複雑なページに対して自動的に解像度を下げて印刷する低解像度印刷機能が働きます。

こんな表示が出たら

操作パネルに表示されたとき

操作パネルに次のような表示が出たときは、下記の表と参照ページをご覧の上、すみやかに処置を行ってください。

表示			原因と処置	参照ページ
	ドラムカートリッジ交換ランプ	点灯	ドラムカートリッジの交換時期です。新しいカートリッジを準備してください。	65
		点滅	ドラムカートリッジの寿命が来ました。新しいドラムカートリッジに交換してください。	65
	トナーカートリッジ交換ランプ	点灯	トナーカートリッジの交換時期です。新しいカートリッジを準備してください。	63
		点滅	トナーがありません。新しいトナーカートリッジに交換してください。	63
	紙づまりランプ	点滅	紙づまりです。本体からつまっている紙を取り除いてください。	70
	ディスプレイに〔CH〕が点滅		トナーカートリッジが入っているか、確認してください。	15
	ディスプレイに〔C 1〕が点灯		フロントカバーが開いています。 フロントカバーを確実に閉じてください。	—
	用紙ランプが点滅		給紙トレイの用紙がなくなっています。用紙を補給してください。	17
～	ディスプレイに〔E 1～E3〕が点滅		紙づまりです。本体からつまっている紙を取り除いてください。	70
⇩⇧	ディスプレイにアルファベットと数字が交互に点滅		内部で異常が発生しています。電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、すみやかにカストマーサポートセンターへご連絡ください。	89

ステータスモニターについて

印刷が開始されると、コンピューターの画面上にステータスモニターが表示されます。ステータスモニターには、本機の状態や現在行われている印刷についての最新情報がメッセージとして表示されます。ステータスモニターには、次の3種類があります。それぞれのメッセージに対応する処置を行ってください。

正常メッセージ

現在の本機の状態を示します。正常に処理が実行されていますので、何もする必要はありません。

メッセージ	説明および処置
印刷できます	本機は印刷待ち状態で、次の印刷ジョブの印刷が可能です。
スプールまたは印刷しています	印刷ジョブが進行中です。
コピーしています	コピー ジョブが進行中です。

警告メッセージ

メッセージ	説明および処置
トナーカートリッジの交換時期です。新しいカートリッジを準備してください。	トナーが消耗しています。印刷は続行できますが、印字品質が低下します。すぐに新しいトナーカートリッジを入手して交換してください。
ドラムカートリッジの交換時期です。新しいカートリッジを準備してください。	ドラムカートリッジが消耗しています。印刷は続行できますが、印字品質が低下します。すぐに新しいドラムカートリッジを入手して交換してください。
特殊用紙モードです。すべての用紙をいったん取り出してから、1枚ずつ用紙をセットしてください。その用紙の印刷が終了したら、次の用紙をセットしてください。以後、同じ作業を繰り返してください。	特殊紙で印刷するときは、給紙方法で「特殊用紙」を選択します。「特殊用紙」のときは、給紙トレイに用紙を1枚ずつセットして印刷を行ってください。

障害メッセージ

メッセージ	説明および処置
ドラムカートリッジの寿命がきました。新しいドラムカートリッジに交換してください。	ドラムカートリッジが消耗しました。ドラムカートリッジを新しいドラムカートリッジに交換するまで、印刷を続行できません。
用紙切れまたは用紙送りの不良です。給紙トレイを確認してください。	給紙トレイに用紙がないか、用紙が正しく送られていません。給紙方法としてトレイを選択しているので、用紙を補充するか、給紙トレイの紙送りを正常にするまで、印刷を続行できません。
フロントカバーを閉じてください。	本機のフロントカバーが開いています。フロントカバーを閉じるまで、印刷を続行できません。
トナーカートリッジを正しくセットしてください。	本機内にトナーカートリッジが正しくセットされていません。トナーカートリッジを本機に正しくセットしてください。

メッセージ	説明および処置
紙詰まりです。本体からからまっている用紙を取り除いてください。	本機で紙詰まりが発生しています。詰まった用紙を取り除いてください。詰まった用紙を取り除くまで、印刷を続行できません。
プリンターの電源が入っているか、インターフェースが正しく接続されているかどうかを確認してください。	本機の電源スイッチが「入」（｜）側になっているか、インターフェースケーブルが正しく接続されているか確認してください。他のコンピューターが本機で印刷中のときは、その印刷が終了したあとに印刷されます。
サービスエラーです。 電源をいったん切って、約5秒してからもう一度電源を入れてください。再び同じ状態であれば、カストマーサポートセンターにご連絡ください。	本機が致命的なエラー状態を検出したので、印刷を続行できません。特定のエラー状態やエラーコードをすべてメモしてください。次に、本機の電源スイッチを切ってください。約5秒待ってから、本機の電源スイッチを入れてください。本機のエラー状態が続く場合は、カストマーサポートセンターにご連絡ください。
通信エラーです。 ケーブルが正しく接続されているか確認し、再び同じ状態であれば、現在の操作をいったん終了し、もう一度電源を入れ直してから操作してください。	コンピューターが本機と通信できなくなりました。現在の操作を取り消してから、本機の電源スイッチを切ってください。ケーブルの接続を入念にチェックしてください。約5秒待ってから、本機の電源スイッチを入れてください。再度印刷ジョブを試しても本機の通信エラーが続く場合は、「故障かな？と思ったら」（= 73ページ）をお読みください。

総コピー枚数を確認する

次の手順で、本機の総コピー枚数を確認することができます。

1 クリア／ストップキー⊗を約5秒以上押しつづけると、ディスプレイに総コピー枚数が3桁ずつ2回に分けて表示されます。

例：総コピー枚数が1,234枚の場合

9 付録

別売品・消耗品の種類と保管方法

本機には、消耗品としてコピー用紙、トナーカートリッジやドラムカートリッジが必要です。
当社では、次のような消耗品を用意しています。

ご注意
- 消耗品は当社指定のものを使用してください。
- 次の消耗品の価格には、消費税は含まれておりません。

推奨する用紙

- コピー用紙は当社推奨の用紙をお使いになることをお奨めいたします。

品　名	サイズ
L紙	A4、B5、A5

- 詳しくはカストマーサポートセンターにお問い合わせください。

消耗品の種類

品　　名	形　名	交換時期
WorkCentre 60シリーズ用トナーカートリッジ	F213	約3,000枚※
WorkCentre 60シリーズ用ドラムカートリッジ	F030	約18,000枚

※　A4サイズで像密度5%をコピーしたときの枚数を基準としています。
本機を購入したときに付属しているトナーカートリッジの交換時期は1,500枚です。

ご注意　別の機械で使用していたトナーカートリッジを使用することは避けてください。コピー汚れの原因となります。

消耗品の保管方法

1 消耗品は次のような場所をさけて保管してください。
- 湿気の多い場所
- 高温および極端に低温の場所
- 直射日光の当たる場所
- ホコリの多い場所

2 用紙は立てかけないで水平に保管してください。

3 用紙の残りは、必ず用紙の袋に入れ、袋の口を閉じて保管してください。
そのままにして放置しますと、カールや吸湿して、紙づまりなどの原因となることがあります。

4 トナーカートリッジは立てかけないで水平に保管してください。

ご注意
- トナーカートリッジは小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。
- トナーカートリッジとドラムカートリッジは、40℃以下の温度で保管してください。
それ以外の環境で保管すると、正しく使用できなくなる場合があります。

本機の仕様

名称	WorkCentre 60P
形式	卓上式

コピー部

解像度	読み込み：400dpi　　出力：600dpi
階調性	256階調
複写原稿	シート物、ブック物　　最大原稿サイズ：A4
複写サイズ	最大：A4、最小：官製ハガキ、封筒（長形3号） 欠け幅：先端1～5mm・後端約5mm以下・左右いずれも約3mm以下
複写倍率	0.50～2.00の範囲で0.01倍ごとに151段階の任意倍率および 1：1±1%/1：1.410/1：1.150/1：0.860/1：0.700/ の固定倍率
注1ファースト コピー・タイム	12.5秒　ただし予熱モード状態からのファースト・コピータイム　21秒以下 オートパワーシャットオフモード状態からのファースト・コピータイム　23秒以下 電源を入れた後のファースト・コピータイム　23秒以下
連続複写速度	6枚／分

プリンター部

解像度	600×600/300×300dpi選択可 印刷画像強調技術（SIET）により1800dpi相当×600dpiで印刷可
印刷の方向	縦（ポートレイト）、または横（ランドスケープ）
初回印刷時間	約20秒
印刷速度	最大6枚／分（A4での印刷時）

その他

原稿台方式	固定式
記録方法	半導体レーザーダイオードを使用した電子写真方式
現像方式	非磁性一成分現像方式
定着方式	加圧ローラーによる即熱定着方式
帯電方法	ブラシ式帯電方式
排紙トレー容量	約50枚（普通紙）
用紙	普通紙および特殊紙、官製ハガキ、封筒
給紙方式	自動給紙（250枚）および50枚まで連続コピー可能
連続複写	1～50枚
トナー カートリッジ	非磁性一成分トナーを使用した現像方式 寿命：約3,000枚※（A4像密度5%）
ドラム カートリッジ	OPC（organic photoconductor）感光体 寿命：約18,000枚/A4
電源	AC100V、15A、50Hz/60Hz共用
消費電力	最大600W
大きさ	幅460mm×奥行425mm×高さ229mm
質量	約10.2kg（ドラム／トナーカートリッジを含む）
機械占有寸法	幅460mm×奥行650mm
使用環境	温度：10℃～30℃　　湿度：20%～85% ※温度が35℃の場合は、相対湿度は60%RHです。
騒音	音響パワーレベル LWA（1B＝10dB） 動作中：6.7［B (A)］　　待機中：周辺騒音レベル 音圧レベル LpA（傍観者位置） 動作中：49［dB (A)］以下　　待機中：周辺騒音レベル 測定方法はISO7779に準ずる

この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

注1：ファーストコピー・タイムの数値は使用環境により変動することがあります。

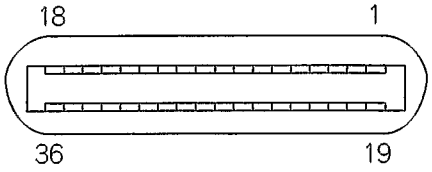
※本機を購入したときに付属しているトナーカートリッジの交換時期は1,500枚です。

パラレルインターフェースの仕様

本機は、双方向パラレルインターフェースを使用しています。お使いのコンピューターがNEC PC-9821シリーズの場合は、販売店でお確かめのうえ、インターフェースケーブルをご購入ください。

ご注意 コンピューター側のパラレルインターフェースコネクターの仕様については、コンピューターの取扱説明書を参照してください。

コネクタ
36ピン DDK 57LE-40360-730B (D29)
メスコネクター、または相当品



ケーブル
シールドタイプの双方向パラレルインターフェースケーブル
長さ：3m以下

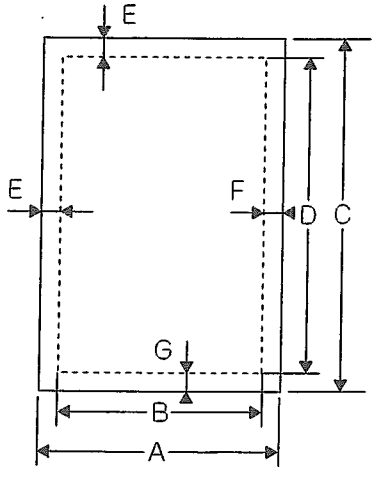
ピン配置
ピン番号および信号名は以下のとおりです。

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	$\overline{\text{STB}}$	19	GND ($\overline{\text{STB}}$ RET)
2	DATA 1	20	GND (DATA 1 RET)
3	DATA 2	21	GND (DATA 2 RET)
4	DATA 3	22	GND (DATA 3 RET)
5	DATA 4	23	GND (DATA 4 RET)
6	DATA 5	24	GND (DATA 5 RET)
7	DATA 6	25	GND (DATA 6 RET)
8	DATA 7	26	GND (DATA 7 RET)
9	DATA 8	27	GND (DATA 8 RET)
10	$\overline{\text{ACKNLG}}$	28	GND ($\overline{\text{ACKNLG}}$ RET)
11	BUSY	29	GND (BUSY RET)
12	PE (Paper End)	30	GND (PE RET)
13	SLTC	31	INPRM
14	$\overline{\text{AUTO LF}}$	32	$\overline{\text{FAULT}}$
15	(NC)	33	(NC)
16	GND (0 V)	34	(NC)
17	FG	35	+5V
18	+5V	36	$\overline{\text{SLTC IN}}$

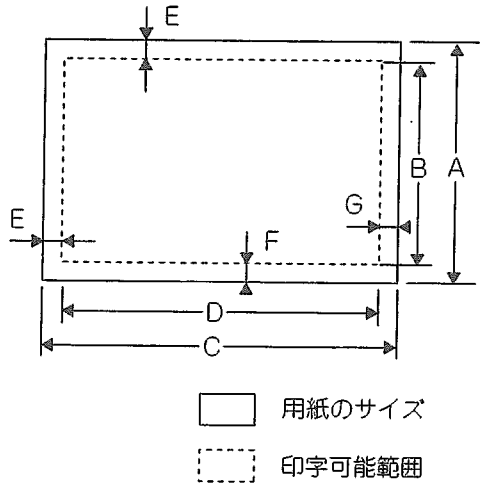
本機の印刷範囲

本機の印刷範囲は、次のとおりです。

縦方向（ポートレイト）



横方向（ランドスケープ）



600dpiの場合

用紙サイズ	ドット						
	A	B	C	D	E	F	G
A4	4960	4760	7015	6815	100	100	100
A5	3496	3296	4960	4760	100	100	100
B5	4299	4104	6070	5870	100	95	100
レター	5100	4904	6600	6400	100	96	100
リーガル	5100	4904	8400	8200	100	96	100
はがき	2362	2168	3496	3296	100	94	100
封筒	2834	2640	5551	5351	100	94	100

300dpiの場合

用紙サイズ	ドット						
	A	B	C	D	E	F	G
A4	2480	2384	3507	3407	50	46	50
A5	1748	1648	2480	2380	50	50	50
B5	2149	2056	3035	2935	50	43	50
レター	2550	2456	3300	3200	50	44	50
リーガル	2550	2456	4200	4100	50	44	50
はがき	1181	1088	1748	1648	50	43	50
封筒	1417	1320	2775	2675	50	47	50

本機を輸送する

本機を輸送するときは、必ず次の手順で梱包してから輸送してください。

ご注意
- 本機を輸送するときは、本機が入っていた箱と保護材を使用してください。それ以外のものを使用すると、本機が破損するおそれがあります。
- 本機を輸送する前に、トナーカートリッジは必ず本機から取り出し、トナーが飛び散らないようにしっかりと梱包した上で、輸送してください。

1 電源スイッチを切り、電源コードをはずします。

2 両端を軽く押さえながら、フロントカバーを開きます。

3 トナーカートリッジを本機から取り出します。取り出しかたについては、「トナーカートリッジを交換する」（☞ 63ページ）を参照してください。

4 給紙トレイから用紙を取り出します。取り出しかたについては、「給紙トレイにつまっている場合」（☞ 70ページ）を参照してください。

5 給紙トレイを本機から取りはずします。

6 排紙トレイを奥まで静かに戻します。

7 保管してある固定ねじを本機左側面に取り付けます。「輸送用保護材を取りはずす」（☞ 14ページ）を参照してください。

ご注意
コピー中に電源スイッチを切ると、固定ビスを本機に取り付けることができない場合があります。
そのような場合は、一度電源スイッチを入れ、本機が標準状態（☞ 21ページ）になったのを確認後、ふたたび電源スイッチを切ってから固定ねじを取り付けてください。

8 フロントカバーを閉じます。

9 設置するときに取りはずした詰め物やテープを取り付けます。「輸送用保護材を取りはずす」（☞ 14ページ）を参照してください。

10 本機を箱に梱包します。「箱の中身を確かめる」（☞ 13ページ）を参照してください。

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に73〜79ページの「故障かな？と思ったら」をよくお読みください。それでも異常があるときは、使用をやめて電源プラグを抜き、弊社のカストマーサポートセンターにお問い合わせください。

⚠ 注意

ご自分の判断で修理はしないでください。たいへん危険です。

補修用性能部品について

弊社は、本機の補修用性能部品を製造打切後、最低保有期間として7年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お問い合わせは

本機についてのご意見、ご質問は、弊社のカストマーサポートセンターへお申しつけください。

カストマーサポートセンター
フリーダイヤル　0120-78-2209

（フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く9：30〜12：00、13：00〜17：00にお受けします。）

索引

O

OHPフィルム 22

あ

アフターサービス 89
安全にお使いいただくために 1
インストール 32
印刷 53
　画質 55
　詳細設定 55
　範囲 87
インターフェースケーブル 13
インターフェースケーブルを接続する 19
インターフェースコネクター 20
オートパワーシャットオフモード 30, 31
大きな原稿 26

か

解像度 55,84
拡大 27
各部のなまえ 8
仮想メモリー 32
紙づまり 70
基本的なコピーのとり方 24
キャビネット 68
給紙トレイ 13, 17, 70
原稿カバー 68
コピーガラス 68
故障かな？と思ったら 73
固定ねじ 14
固定倍率 27
コピー禁止事項 7
コピーの濃さを変える 26
コピーを拡大・縮小する 27
コンピューターの動作環境 32

さ

自動解除モード 30, 31
自動濃度調整 26
写真をコピーする 26
縮小 27
仕様 84
使用できる用紙とサイズ 22
消耗品 83
　交換方法 63
　保管方法 83
ズーム倍率 27
ステータスモニター 81
清掃方法 68
設置場所 11
操作パネル 10
　表示 80

た

低解像度印刷 79
電源コードを接続 19
電源を入れる 20
特殊紙 22
トナーカートリッジ
　交換 63
　交換時期 63
　定着部 64
　取り付け 15
トナー節約モード 9, 10
ドラムカートリッジ
　クリーニング 68
　交換 65
　交換時期 65
　定着部 66
取り扱い 12

は

排紙口 72
排紙トレイ 8, 24
はがき 18,57
箱の中身 13
パラレルインターフェース 8, 19
パラレルインターフェースの仕様 86
標準状態 21
封筒 18, 22
プリンターグルーブ 52
プリンタードライバー 32
　インストール 32
　削除 61
　設定 54
別売品 83
保護シート 15, 66

ま

メッセージ 81
メモリー 32

や

輸送 88
輸送用保護材 14
用紙解放レバー 8, 17
用紙をセット 17
予熱モード 30, 31

ら

両面にコピー 28

WorkCentre™ 60P 取扱説明書

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
PS 事業本部 ドキュメントエンジニアリングサービス部
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社
〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22
電話 03(3585)3211

発行年月 ― 1999 年 3 月 第 1 版

Printed in China

WorkCentre 60P

取扱説明書

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

1版
1999年3月
600K 78330
帳票 No.DE-0691